

# 資料編

- 1 図書館の事例
- 2 市民アンケート調査結果等
- 3 市民意見交換会
- 4 市民ワークショップ

## 1 図書館の事例

### (1) 駅前・中心市街地に整備

#### 事例1) 千代田区立千代田図書館【東京都 千代田区】

コンセプト・基本理念 : 「千代田ゲートウェイ」(情報の発信)、「ビジネスを発想するセカンドオフィス」、「区民の書齋」、「クリエイトする書庫」、「ファミリーフィールド」の5つをコンセプトとする

図書館の特徴 : 複合ビル内にある、ビジネスパーソン向けサービスを提供する図書館

#### 具体的な特徴・概要

##### ① 平日の開館時間は夜10時まで

区の人口に対して、昼間の就業人口が多い千代田区の特徴を踏まえ、区で働くビジネスパーソンが利用しやすい夜10時まで開館している。

##### ② 充実したビジネス環境

電源や有線LANが利用できる座席の設置や、館内の一部で無線LANが利用できる等、ビジネス支援を行うための環境が整備されている。

##### ③ 図書館コンシェルジュの配置

図書館コンシェルジュを配置し、図書館の総合案内だけでなく、まちの書店や古書店における本探しのお手伝い等、地域活性化に寄与する取組を行っている。



外観【複合ビル】



情報探索コーナー



調査研究ゾーン



新聞・雑誌・新着図書コーナー



AVブース席

(出典：千代田区立千代田図書館HP)

## 事例2) 葛飾区立中央図書館【東京都 葛飾区】

コンセプト・基本理念 : 『交流』をキーワードに、家族連れから働く人や専門的な分野にも対応した、機能性とゆとりを生かした知的文化の拠点

図書館の特徴 : 駅前の再開発ビル内にあるワンフロア構成の図書館

### 具体的な特徴・概要

#### ① 「まち」をイメージした開架スペース

広い開架空間を分かりやすい構成とするため、中央を貫く「図書館ストリート」を設置している。利用者の大きな流れに沿って配架を展開すると同時に、随所に冊並みのような、かつしかコーナー、予約資料コーナー、閲覧席等を配置している。

#### ② ユニバーサルデザインを取り入れた図書館

低い書架、車いすでも通りやすいメインストリートを含む通路など、子どもからお年寄り、障がいを持った人も全ての利用者が同じように利用できるユニバーサルデザインを採用している。

また、視覚障がい者の方が、決まった周波数に合わせれば、カウンターや対面朗読室などを案内する「てくてくラジオ」を含む様々な図書支援サービスを取り入れている。

#### ③ 充実した読書席の設置

開架スペースにはテーブル席、グループ席、一人用席やスツールなど450の読書席を確保し、利用者の目的や気分に合わせて自分のお気に入りや自由なスタイルを選べ、多様な読書スタイルに対応することができる。



外観【複合ビル】



図書館ストリート



読書席

(出典：葛飾区HP)

## (2) 地域に根差す図書館づくり

### 事例1) 小布施町立図書館 まちとしょテラス【長野県 小布施町】

コンセプト・基本理念 : 「学びの場」「子育ての場」「交流の場」「情報発信の場」という4つの柱による「交流と創造を楽しむ、文化の拠点」

図書館の特徴 : 町民とつくりあげた、誰もが集い、交流する図書館

#### 具体的な特徴・概要

##### ① 町民がつくりあげ、自由に利用できる図書館

設計段階から町民が意見を出したことで、飲食スペースや授乳コーナー等が設置される等、町民のアイデアを踏まえた空間づくりがされている。

また、館内でコンサートや講演会を実施する等、町民や観光客が参加し、交流できる自由でフレキシブルな場となっている。

##### ② 図書館サービスの幅を外に広げる取組“まちじゅう図書館”

平成24年秋から、小布施町内の住宅や店舗等のスペースに本棚を設置し、図書によって町民とコミュニケーションを図る「まちじゅう図書館」が行われている。貸出方法の取り決めはなく、返却日については貸出場所の館長と利用者との相談の上決定する。

##### ③ 明るく開放的な空間と、様々な利用を促す書架等の配置

建物は平屋建てのワンルーム空間で、天井が高く、明るい空間が広がっている。四方八方にあつらえた大きな窓から太陽の光が射し込む。

また、書架やソファの配置を工夫することで、図書館全体をゆるやかに仕切り、様々な場面で利用しやすいようになっている。テーブルや椅子、ソファは運びやすいよう軽く作られており、移動させてミニコンサート等ができるスペースも作ることができる。



外観



書架・閲覧席

## 事例2) 伊万里市民図書館【佐賀県 伊万里市】

コンセプト・基本理念 : 伊万里をつくり 市民とともにぞだつ 市民の図書館

図書館の特徴 : 市民と共につくり、まちや市民に貢献する図書館

### 具体的な特徴・概要

#### ① 市民参加の図書館づくり

1986年に主に子育て中の母親たちによって立ち上げられた「図書館づくりをすすめる会」の動きもあり、伊万里市民図書館の建設に至った。図書館開館後は「図書館フレンズいまり」となって、図書館への援助と提言を続けている。どのような図書館にしたいかを図書館と市民が一緒に考えていくことで、図書館の使命が明確になり、地域の活性化に繋がっている。

#### ② 的確な資料提供による課題解決支援

レファレンスでは、必要に応じて県立図書館や国立国会図書館などと相互貸借を活用したり文献複写を依頼することで、豊富な資料の中から迅速に的確な情報を提供し、課題解決の支援をするという図書館の基本的な使命を大切に、図書館のサービスを利用していない人にもその利便性をPRするべく営業活動を行っている。

#### ③ まちづくりに役立つ図書館

「伊万里学コーナー」では、行政と一緒にまちを作る市民を育てるため、伊万里の地域資料、行政資料と共に、全国のまちづくりの資料も揃えている。



外観



開架室



北の庭

(出典：伊万里市民図書館HP)

### (3) 情報化社会の進展に合った情報提供の充実

#### 事例1) 伊那市立伊那図書館【長野県 伊那市】

コンセプト・基本理念 : 伊那谷という「屋根のない博物館」の中で、人々が交流し、新しい知を育む「屋根のある広場」としての図書館

図書館の特徴 : 市民協働型でつくるアプリによる地域資源の活用を推進する図書館

#### 具体的な特徴・概要

##### 地域情報のデジタルアーカイブ化

これまで、図書館やその他公共施設に蓄積されてきた古地図などの地域資料は、分散しており統合的にアクセスできる仕組みが存在しなかった。プロジェクト「高遠ぶらり」では、古地図をデジタル化し、iPhone/iPad用のアプリでGPSによる位置情報と共に利用できるようにしたり、史跡などの情報も合わせて表示できるようにすることで、学習や観光に役立てられるようにした。

また、アプリを利用したウォークラリーなどのプログラムは、観光客や小学校・ボーイスカウトの地域学習などに提供されている。地元の高校ではデジタルコンテンツの制作を通じた地域情報の収集・発信の授業に活用され、成果物は実際に観光マップに掲載された。

※プロジェクトのオーナーは伊那図書館であるが、アプリケーションの制作過程においては市民が主体となって参加型の講座が行われている。



外観



アプリ画面



小学生向けウォークラリー

(出典：伊那市HP、高遠ぶらりHP)

## 事例2) せんだいメディアテーク【宮城県 仙台市】

コンセプト・基本理念 : 最先端の知と文化を提供すること、ネットワークの利点を最大限に活用すること、あらゆる障壁(バリア)から自由であること

図書館の特徴 : 図書館と映像メディアセンター、市民ギャラリーなどを備えた複合施設

### 具体的な特徴・概要

#### ① すべての人に開かれた情報の拠点

録音図書や字幕入りビデオの貸出など、目や耳が不自由な方への情報提供サービスが積極的に行われている。

#### ② 表現の空間の提供

館内には多様な活動形態に対応したギャラリーやシアターを備え、美術・映像に関する展示や発表に利用することができる。

#### ③ 多様なプロジェクト

7階スタジオは、様々な情報発信や創造的活動の場となっており、特に2011年以降は「3がつ11にちをわすれないためにセンター」が開かれ、震災記録の集積拠点となっている。また、「考えるテーブル」は震災復興や地域社会、表現活動について語り合う場として機能している。

#### ④ 自由を体現する建築と空間デザイン

上下をつなぐ中空のチューブと、フロアの薄いプレート、外側を覆うガラスのスキンで構成された建築は、内側と外側、上と下、健常者と障がい者、運営者と利用者などといったバリアをとりのぞき、メディアを介してすべてが一体化していくという考え方を体現している。外側からは内部の活動が見え、生き生きとした空間がデザインされている。



外観



書架・閲覧席



スタジオ



ギャラリー

7F: スタジオ
6F: ギャラリー4200
5F: ギャラリー3300
4F: 仙台市民図書館
3F: 仙台市民図書館
2F: ライブラリー
1F: ブラザ
B1F: 駐車場など
B2F: 保存書庫など

(出典: せんだいメディアテークHP)

#### (4) 居心地の良い空間構成

##### 事例1) 武蔵野市立『ひと・まち・情報 創造館武蔵野プレイス』【東京都 武蔵野市】

コンセプト・基本理念 : 知的な創造や交流を生み出し、まちの活性化を深められるような市民活動を支援する

図書館の特徴 : 駅前の複合施設内にあり、人々の交流を生み出す滞在型の図書館

##### 具体的な特徴・概要

###### ① 誰でも立ち寄れる滞在型の図書館

従来の図書館にある「静かな場所」に加え、「音を出しても良い場所」を設けることで、誰でもふらっと立ち寄れる図書館となっている。

###### ② 夜からは、お酒も飲めるカフェ

図書館に入ってすぐに見える1階中央部分にはカフェが導入され、貸出手続きをしていない本を持ち込めたり、アルコールが楽しめるなど、様々な利用者に応じた環境を提供している。

###### ③ 公園を併設した図書館

図書館の前には公園が整備されており、休みの日には学生や親子連れが食事をしていたり、地域団体等がイベントを実施する等、にぎわいのある空間となっている。

###### ④ 多機能の配置を工夫し、人々の交流を生み出す

武蔵野プレイスには、「図書館」だけではなく、「生涯学習支援」、「市民活動支援」、「青少年活動支援」を行う複数の機能が盛り込まれており、図書や活動を通して、人とひとが出会い、交流するような工夫がされている。さらに、人々の交流が自然に生み出されるように、会議室をガラス張りにし中が見えるようにしたり、市民活動スペースにスタディコーナーを設置する等、工夫されたデザインや配置が施されている。



図書館外観と公園



1階のカフェ



## 事例2) 武雄市図書館【佐賀県 武雄市】

コンセプト・基本理念 : 市民の生活をより豊かにする図書館

図書館の特徴 : 民間施設を併設しコーヒーを飲みながら本が読めるライブラリー&カフェ

### 具体的な特徴・概要

#### ① コーヒーを飲みながら本が読める図書館

館内にカフェを設置しており、カフェでくつろぎながら本を読むことができる、新しいタイプの図書館となっている。また、館内のカフェで購入した飲み物は、全ての閲覧スペースに持ち込むことができる。

#### ② 管理運営企業独自のサービスを図書館に導入

民間の書店の空間やサービスを参考とし、年中無休、9時～21時を開館時間とした図書館となっている。

また、従来の図書利用カードの他にポイントカードがあり、自動貸出機を利用した場合、ポイントが付与されるサービスを行っている。

なお、図書館の隣にTSUTAYAが併設されており、書籍の購入やCD・DVDのレンタルができる。



外観



内観

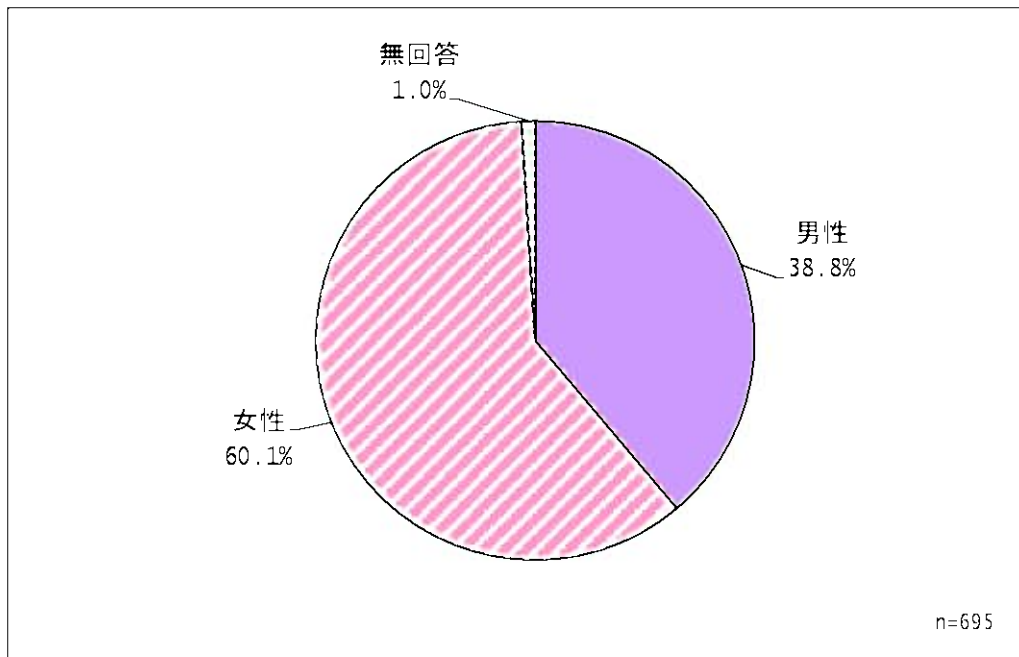
(出典：武雄市図書館HP)

## 2 市民アンケート調査結果等

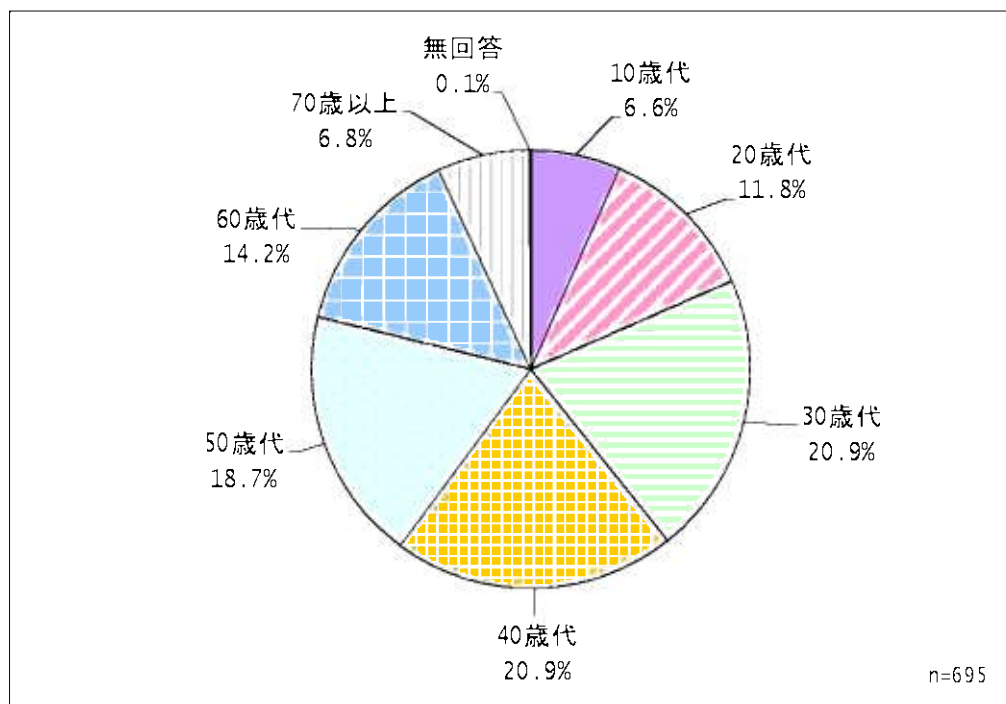
※アンケート結果の構成比は小数点第二位を四捨五入しているため、各比率の合計が100%にならない場合があります。

### (1) 市民アンケート

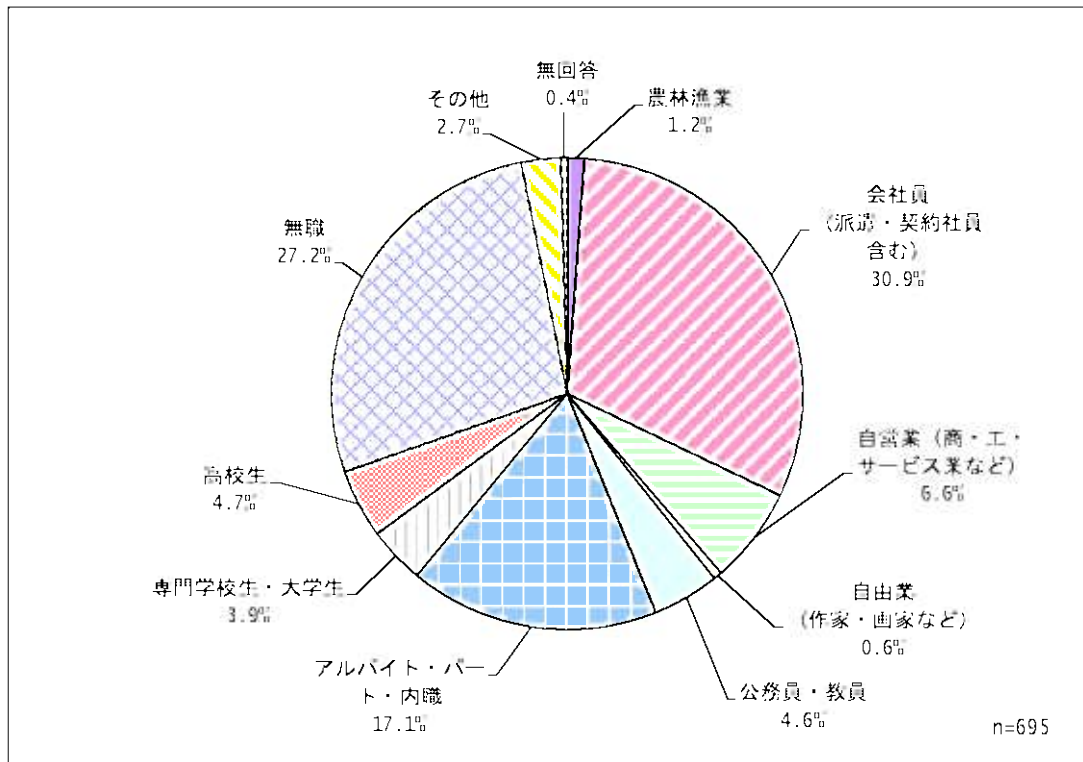
1 あなたご自身のことについて  
問1 あなたの性別は？



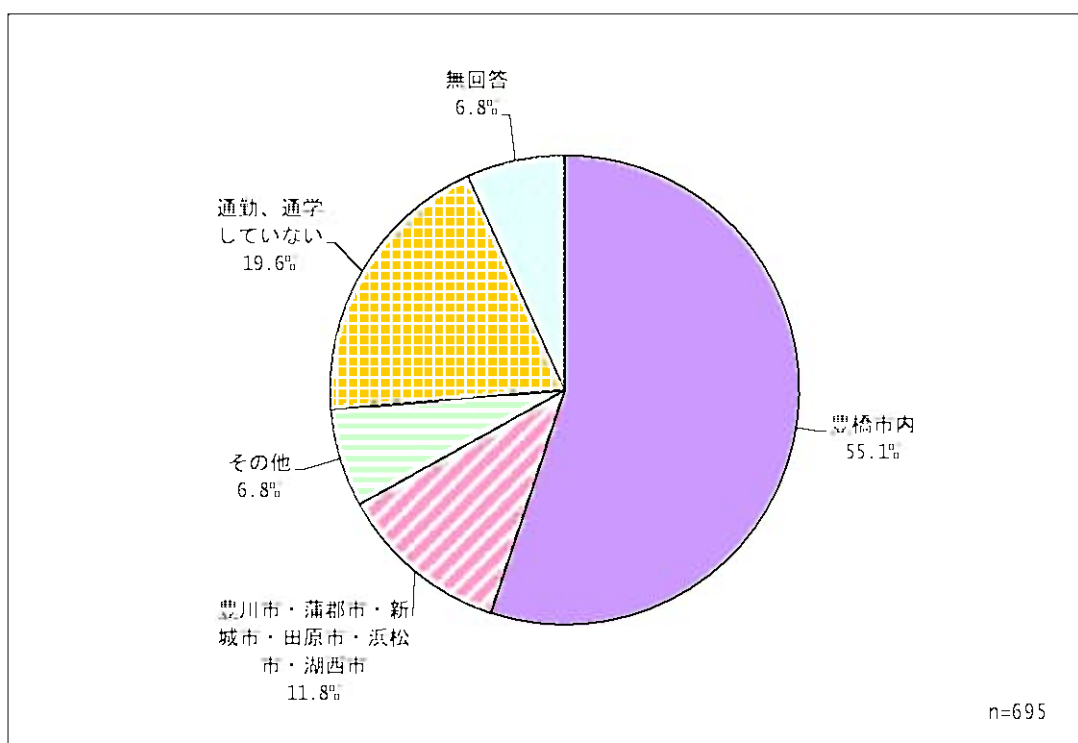
1 あなたご自身のことについて  
問2 あなたの年齢は？



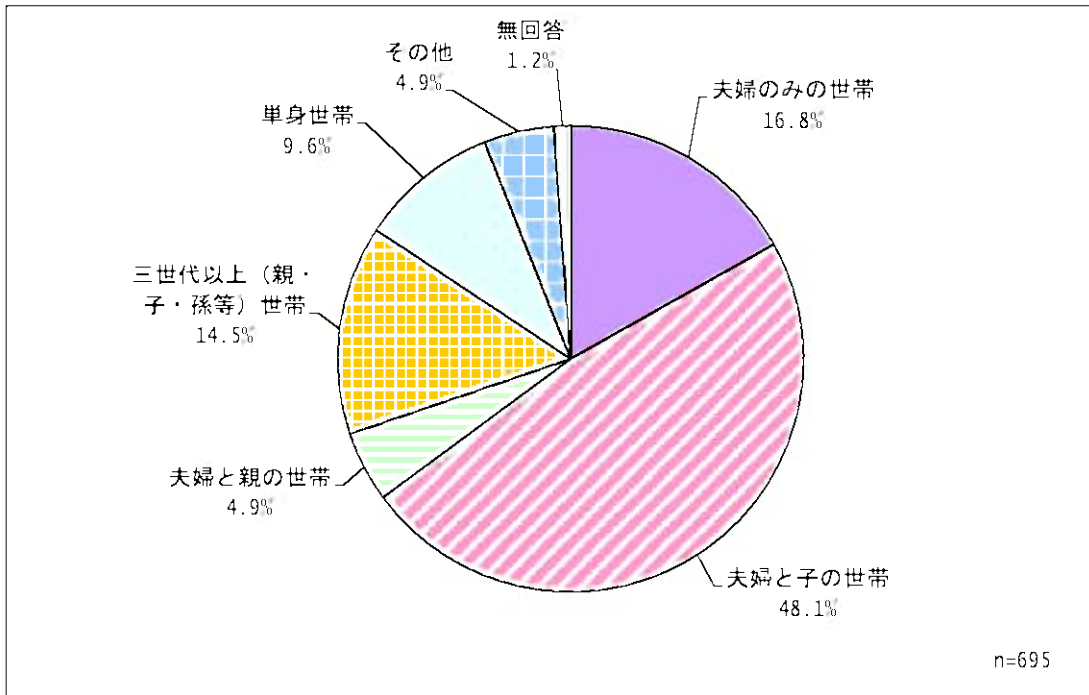
1 あなたご自身のことについて  
問3 あなたの職業などは？



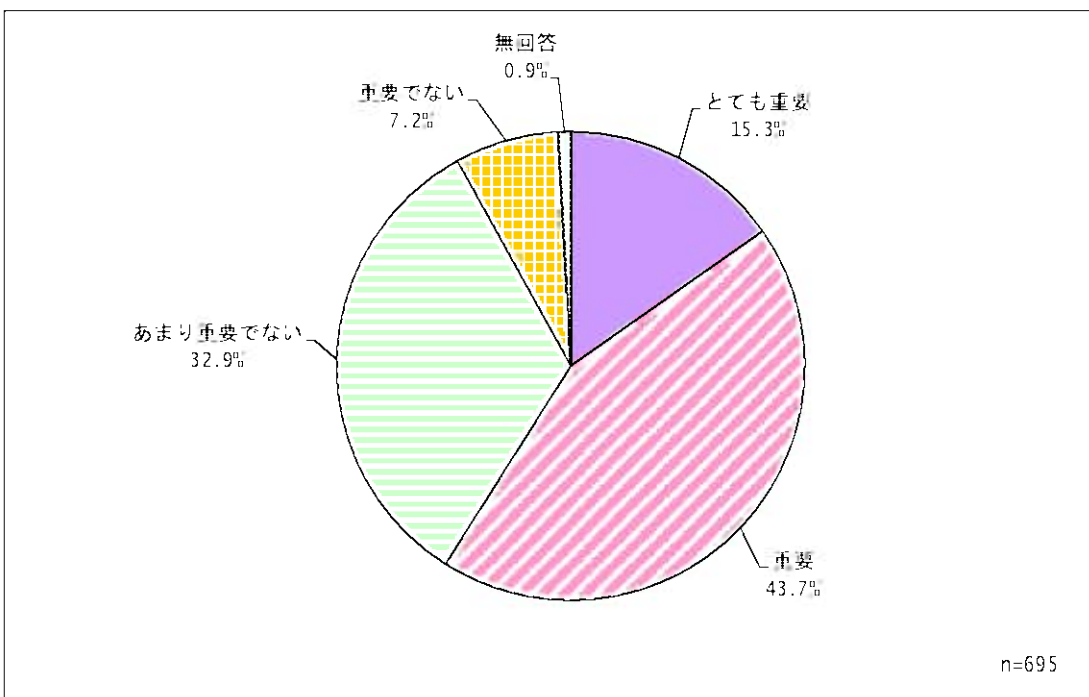
1 あなたご自身のことについて  
問4 あなたの勤務先 (就業地) は？



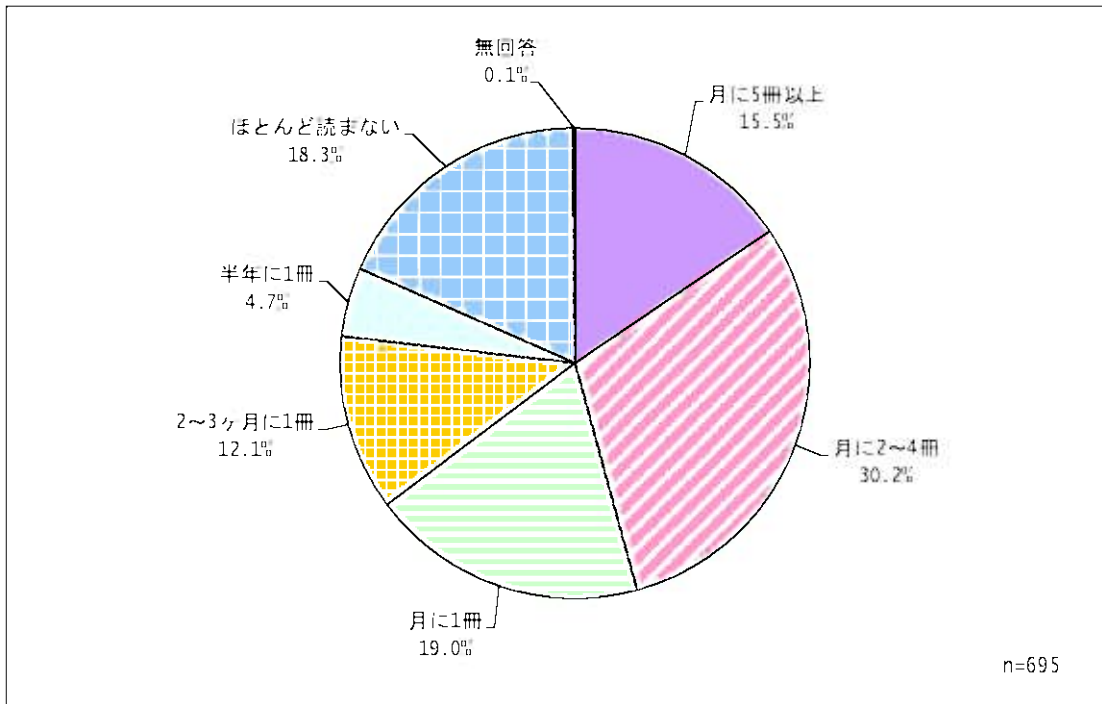
1 あなたご自身のことについて  
 問5 あなたの家族構成は？



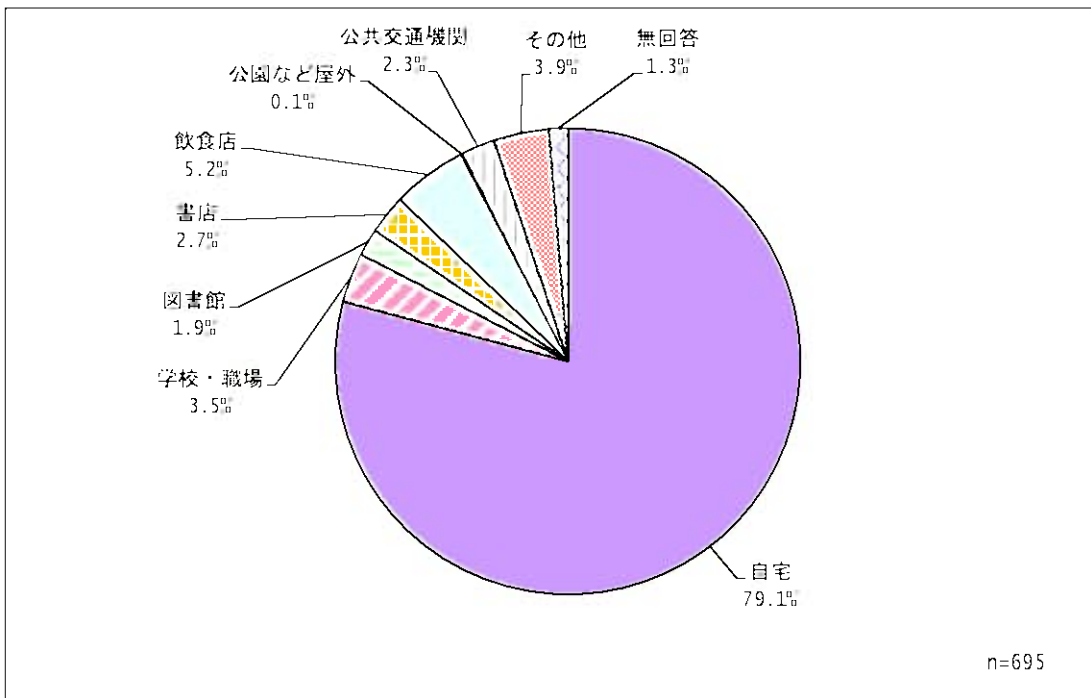
1 あなたご自身のことについて  
 問7 読書・調べ物はあなたのライフスタイルの中でどの程度の位置づけですか？



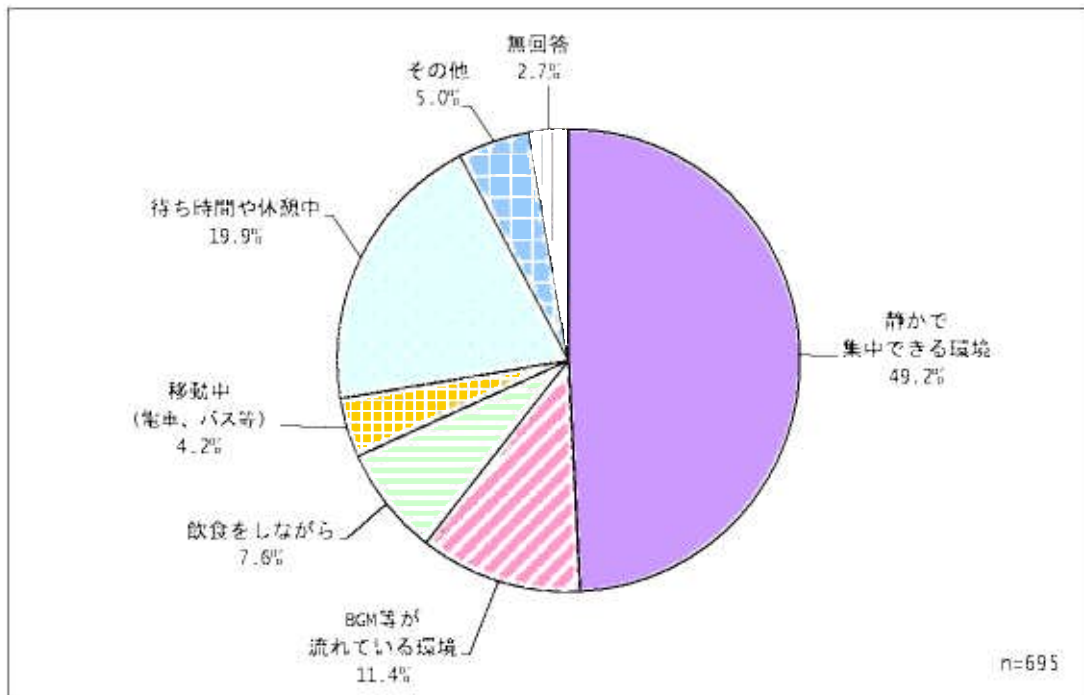
1 あなたご自身のことについて  
 問8 日頃、本や雑誌をどのくらい読みますか？



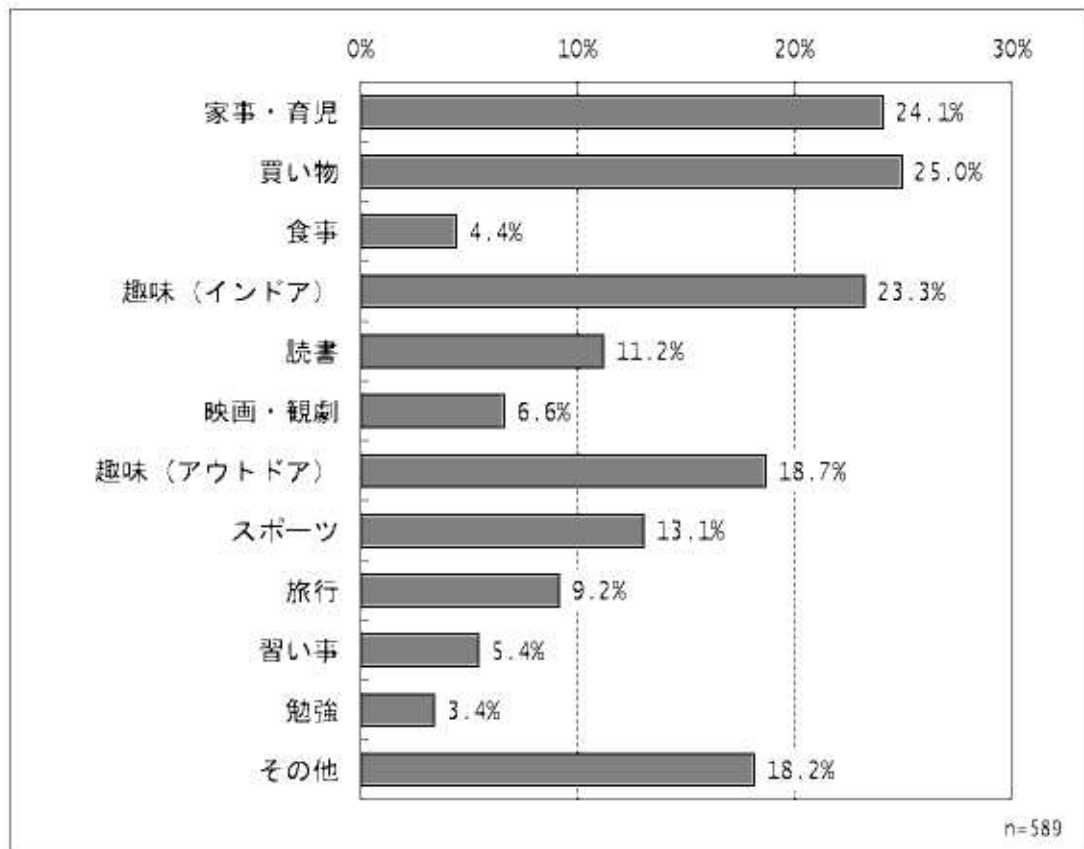
1 あなたご自身のことについて  
 問9 本や雑誌は主にどこで読んでいますか？



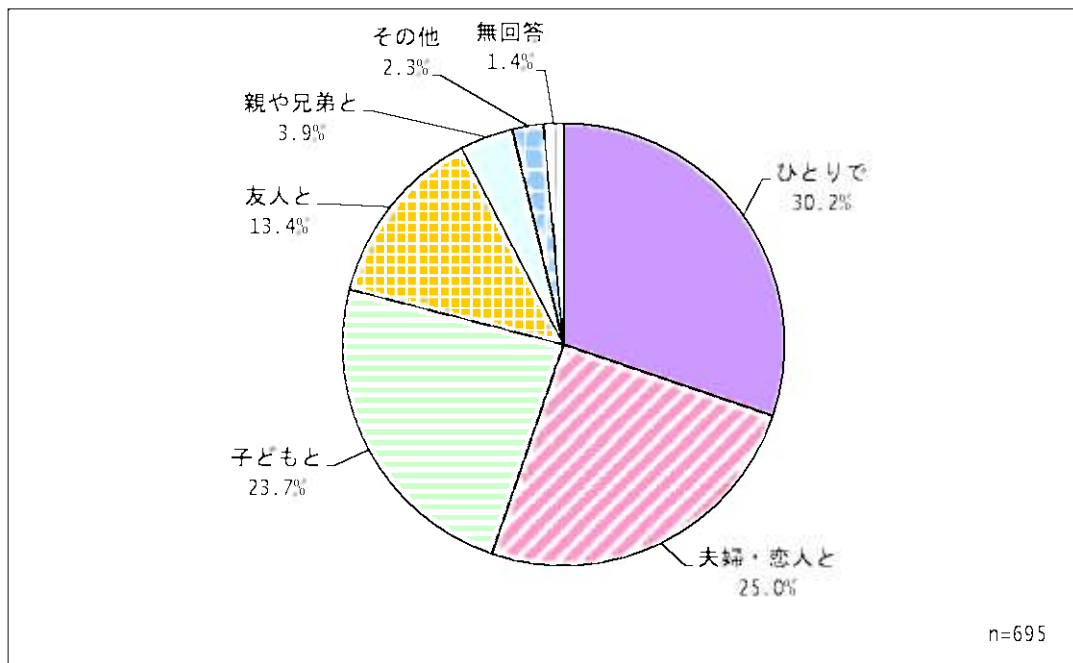
1 あなたご自身のことについて  
 問10 主にどんな環境で本を読んでいますか？



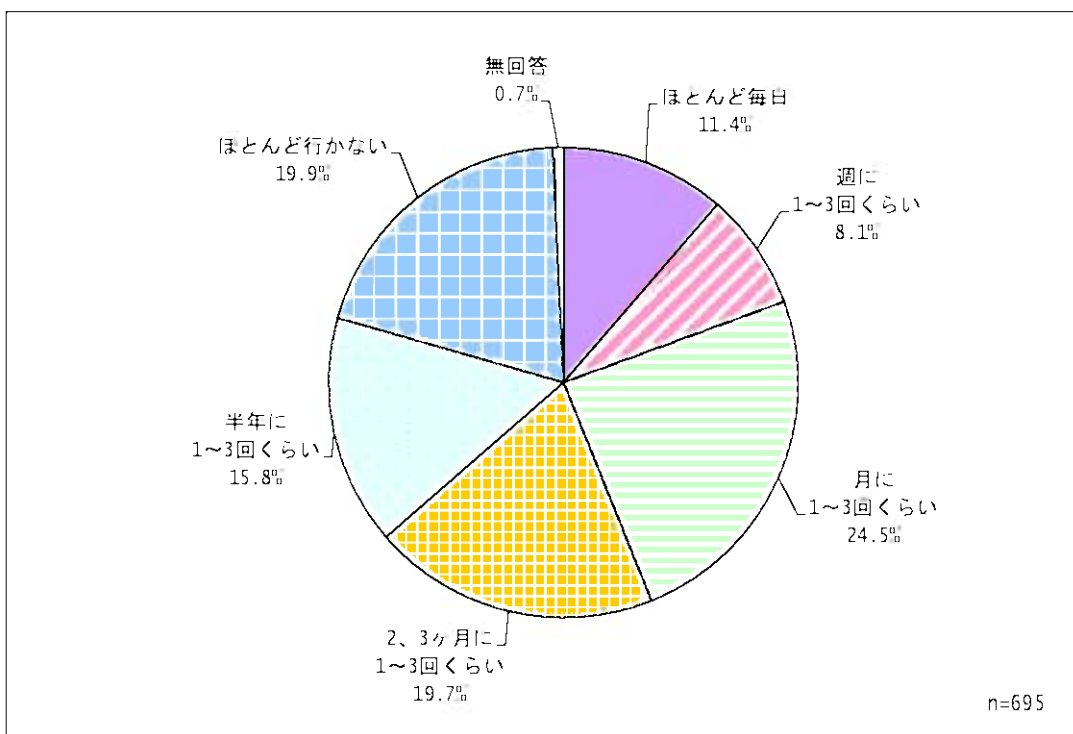
1 あなたご自身のことについて  
 問11 休日・余暇はどんなことをして過ごしていますか？(自由記述)



1 あなたご自身のことについて  
 問12 休日・余暇の過ごし方について誰と過ごすことが多いですか？

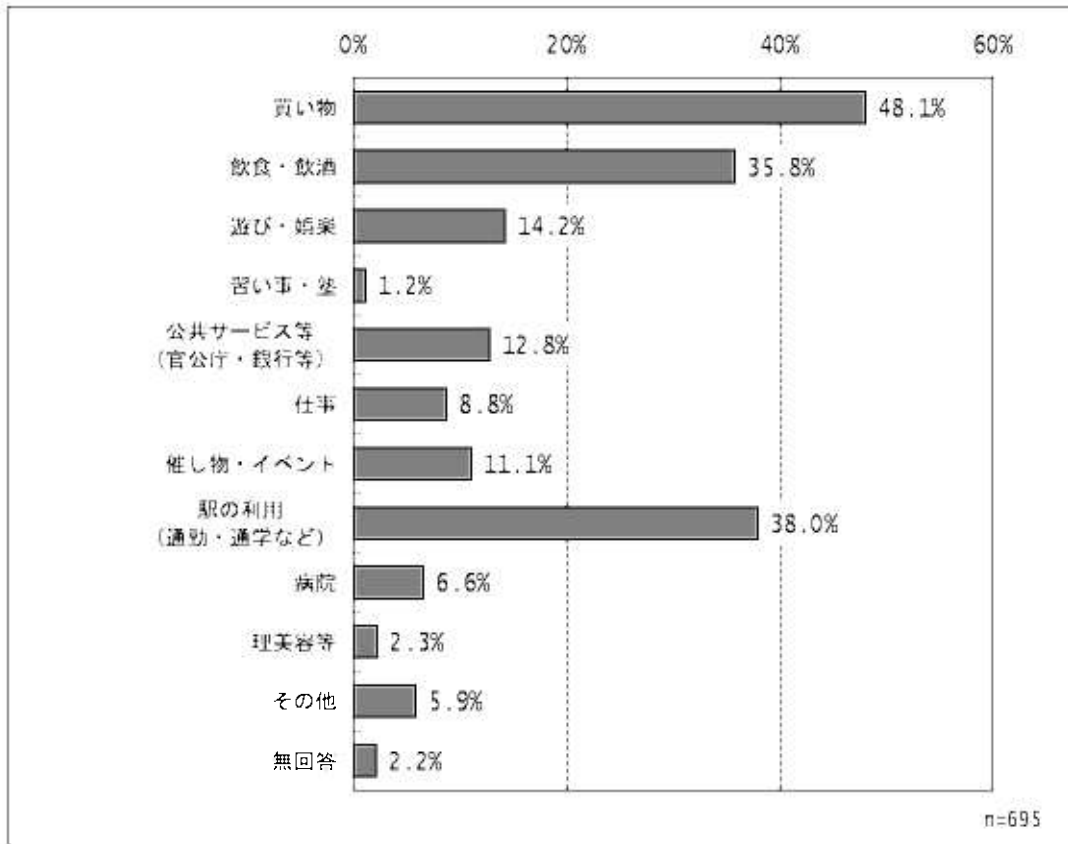


2 豊橋駅周辺への来街について  
 問13 あなたは豊橋駅周辺にどのくらいの頻度で来られますか？



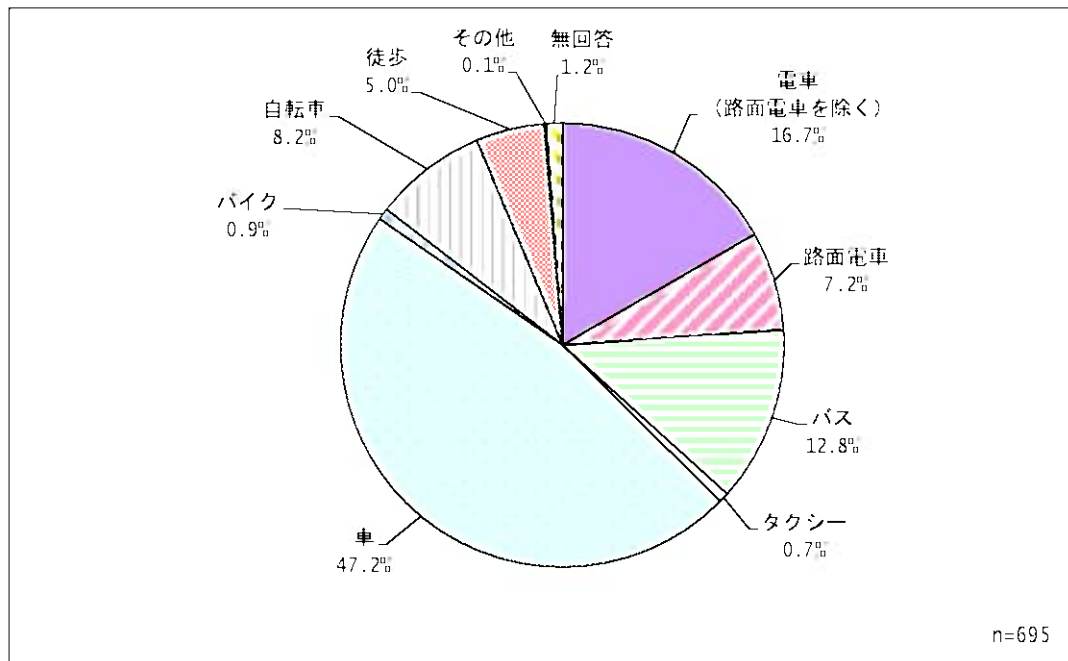
2 豊橋駅周辺への来街について

問14 豊橋駅周辺にはどのような目的で来られますか？（該当するものを3つまで選択）



2 豊橋駅周辺への来街について

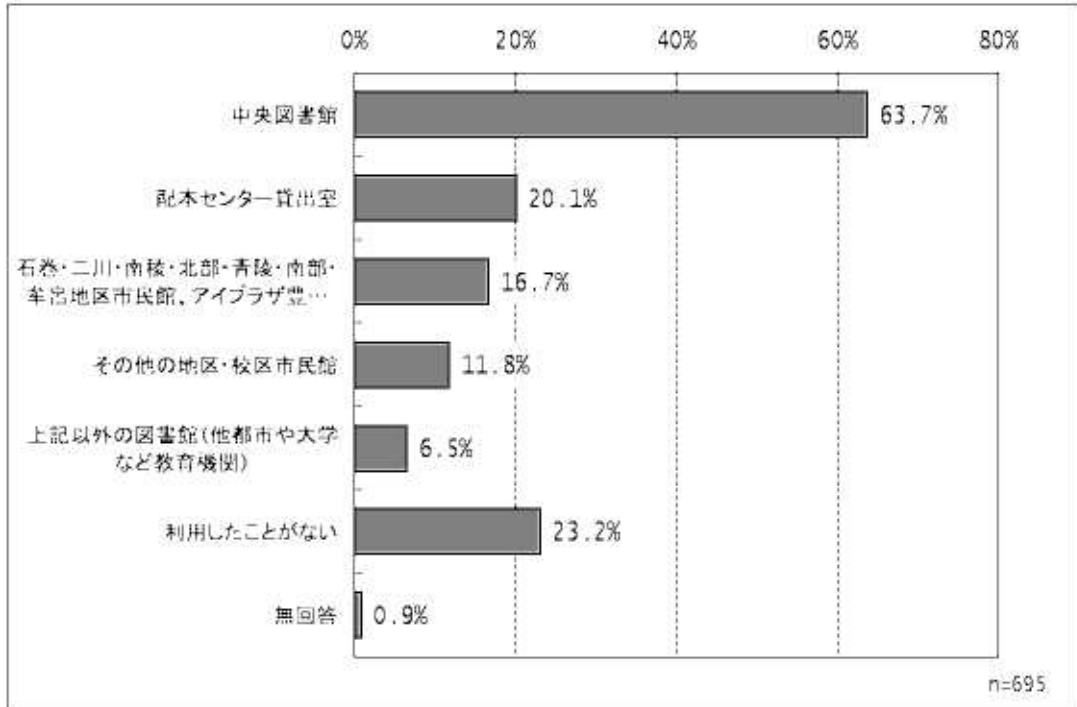
問15 豊橋駅周辺へ来るための主な交通手段は何ですか？





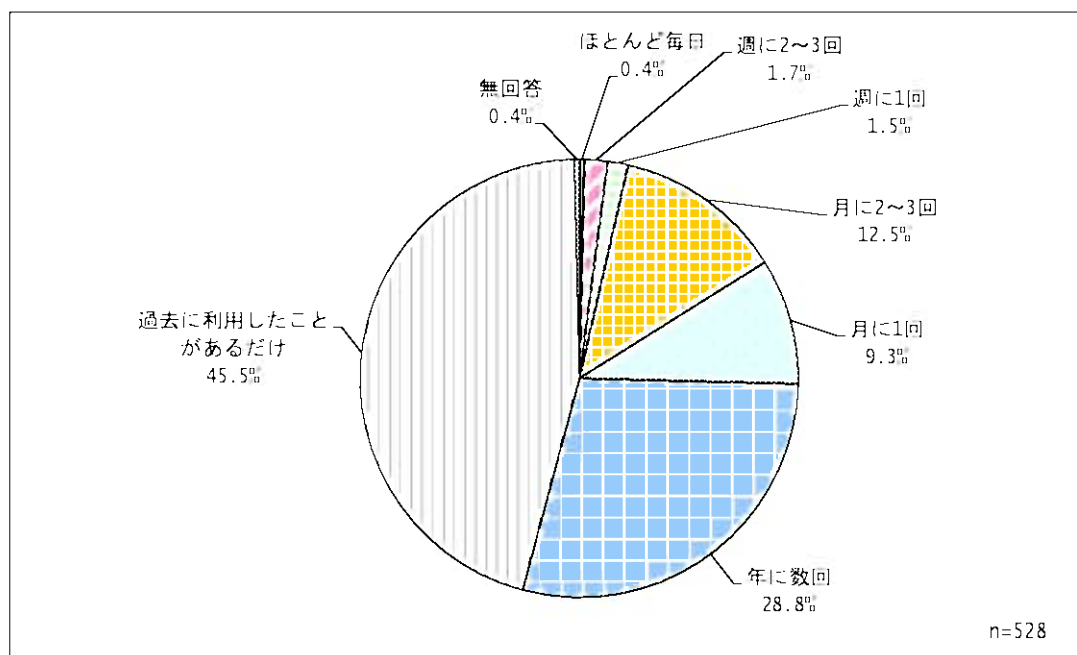
3 図書館利用について

問16 本市の図書館ネットワークは中央図書館（羽根井町）、配本センター貸出室（向山町豊橋市文化会館内）のほか、市民館等の図書館分室で成り立っています。あなたは、どの図書館を利用したことがありますか？（該当するものを全て選択）



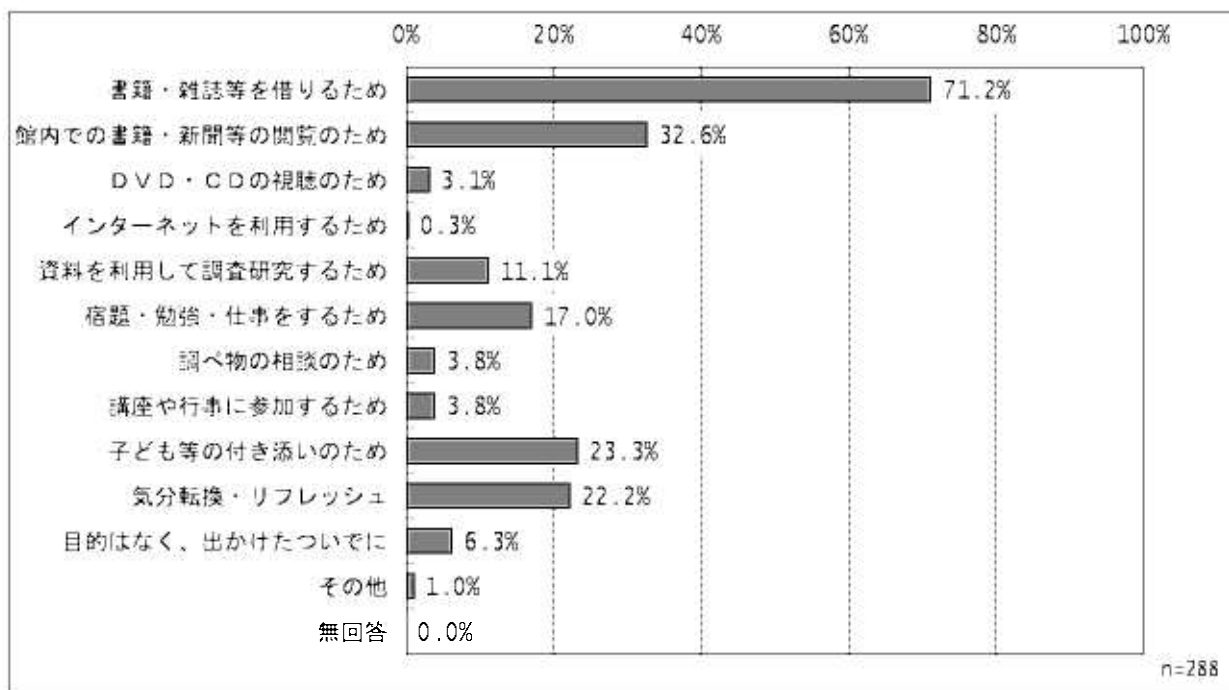
3 図書館利用について

問17 図書館をどの程度利用していますか？



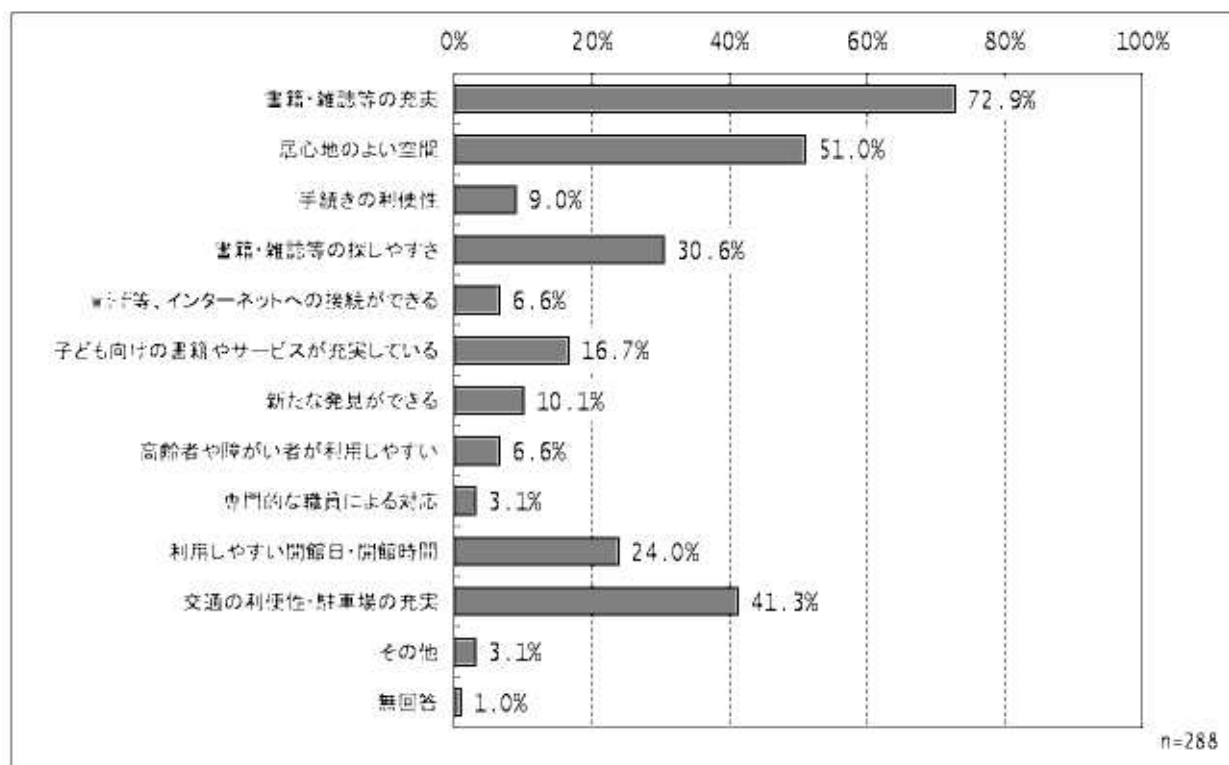
### 3 図書館利用について

問18 図書館を利用する際の目的は何ですか？（該当するものを3つまで選択）



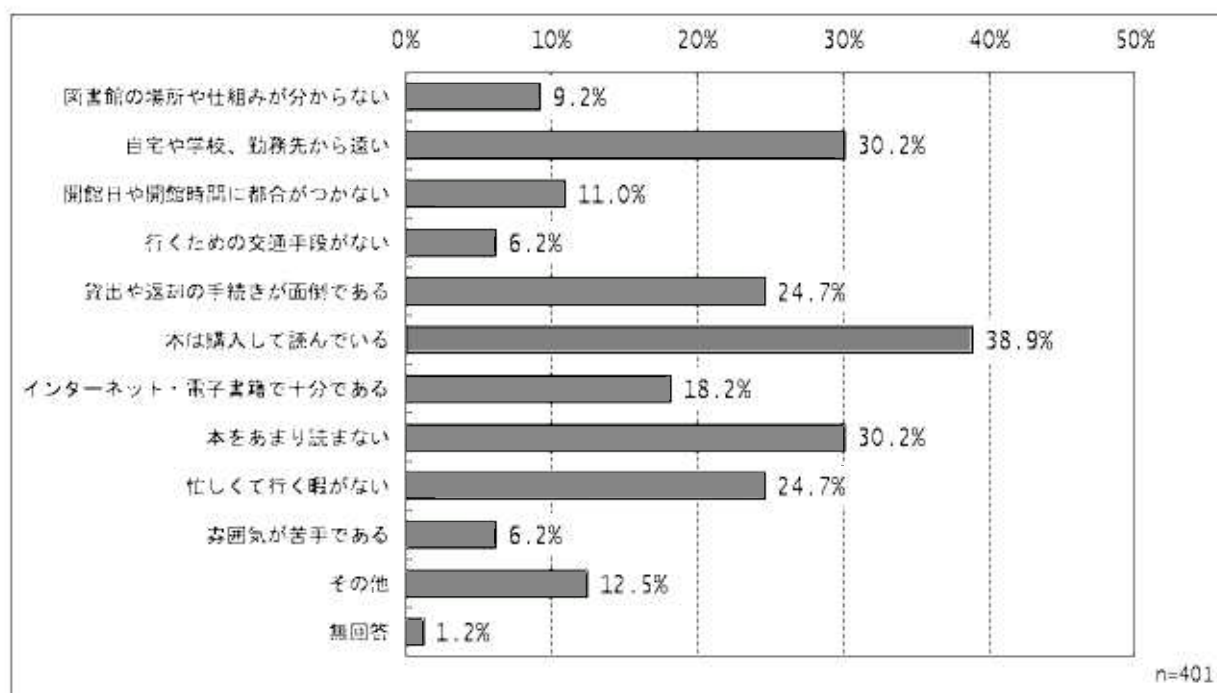
### 3 図書館利用について

問19 図書館を利用する上で望む点は何ですか？（該当するものを3つまで選択）



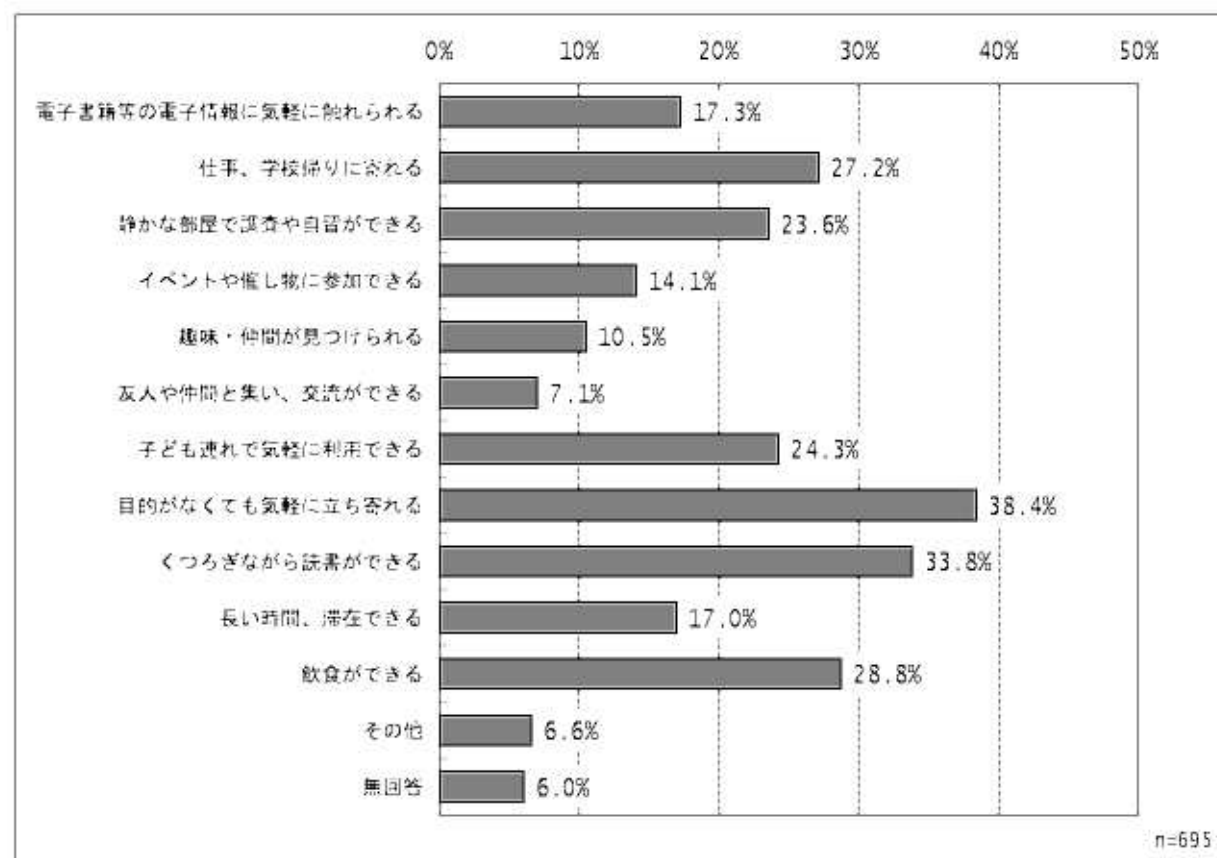
### 3 図書館利用について

問20 問16で「(図書館を)利用したことがない」と回答した方、同じく、問17で「過去に利用したことがあるだけ」と答えた方にお尋ねします。その理由は何ですか？(該当するものを3つまで選択)



### 4 まちなか図書館(仮称)について

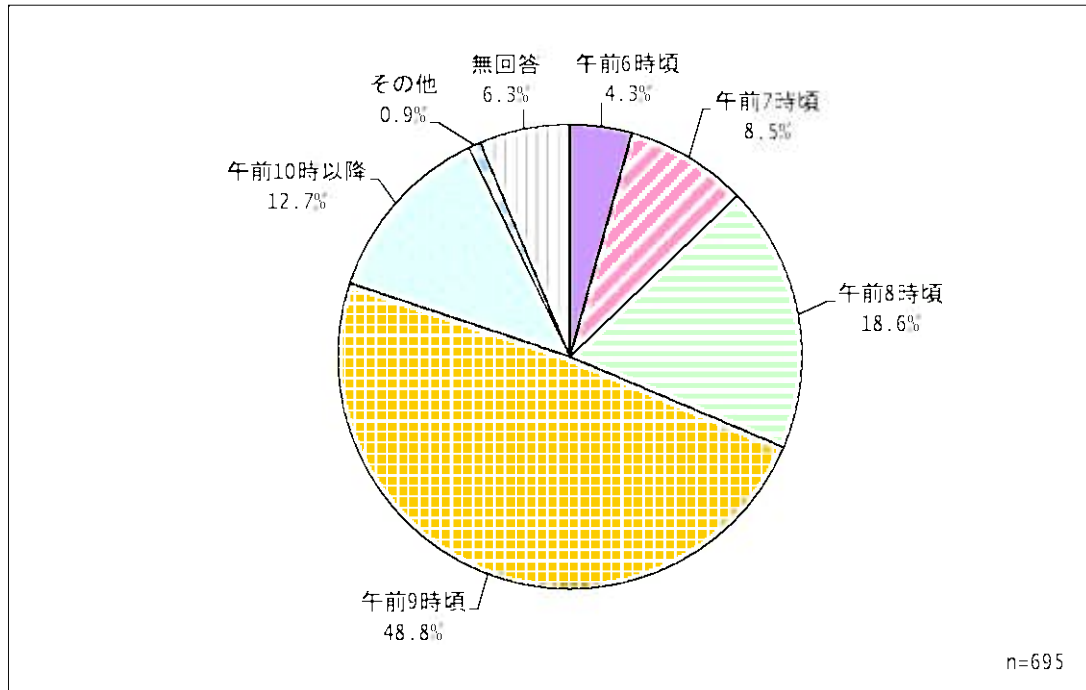
問21 近年、居心地のよい図書館や、人と人が交流できる図書館、飲食が可能な図書館、夜間も開館している図書館など新たな魅力を持った図書館が注目されています。まちなか図書館(仮称)では、どのようなことができればよいと思いますか？(該当するものを3つまで選択)



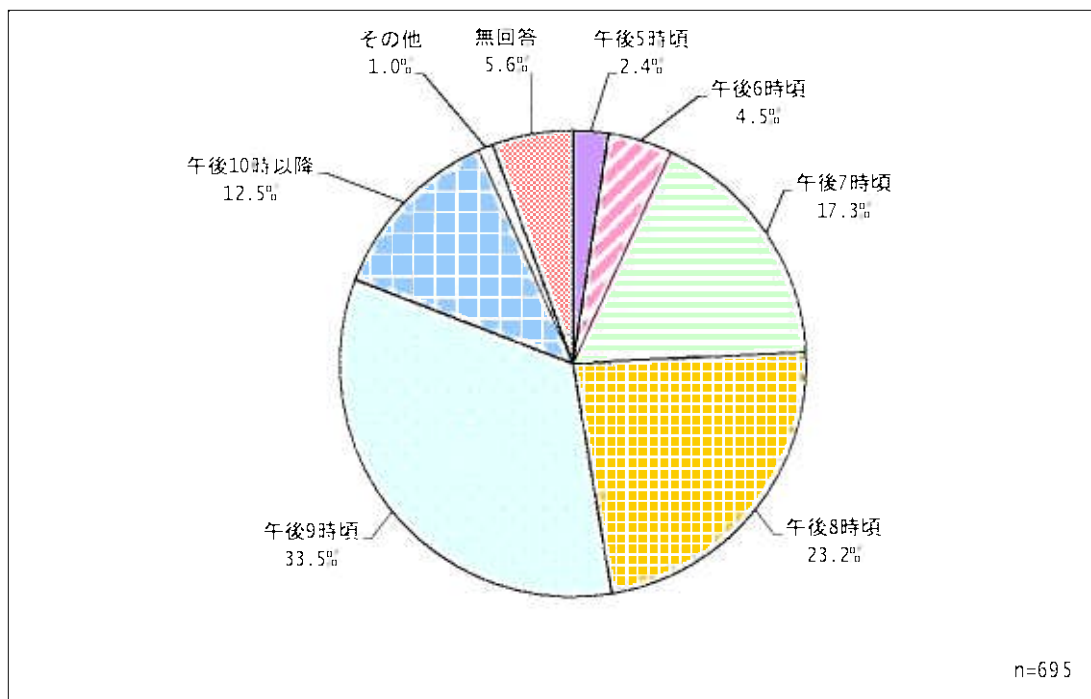
4 まちなか図書館（仮称）について

問22 現在の中央図書館の開館時間は平日が午前9時30分から午後7時まで、土・日・祝日が午前9時30分から午後5時までです。まちなか図書館（仮称）はまちなかに立地する図書館としてふさわしい開館時間を何時から何時までと考えますか？

[何時から]

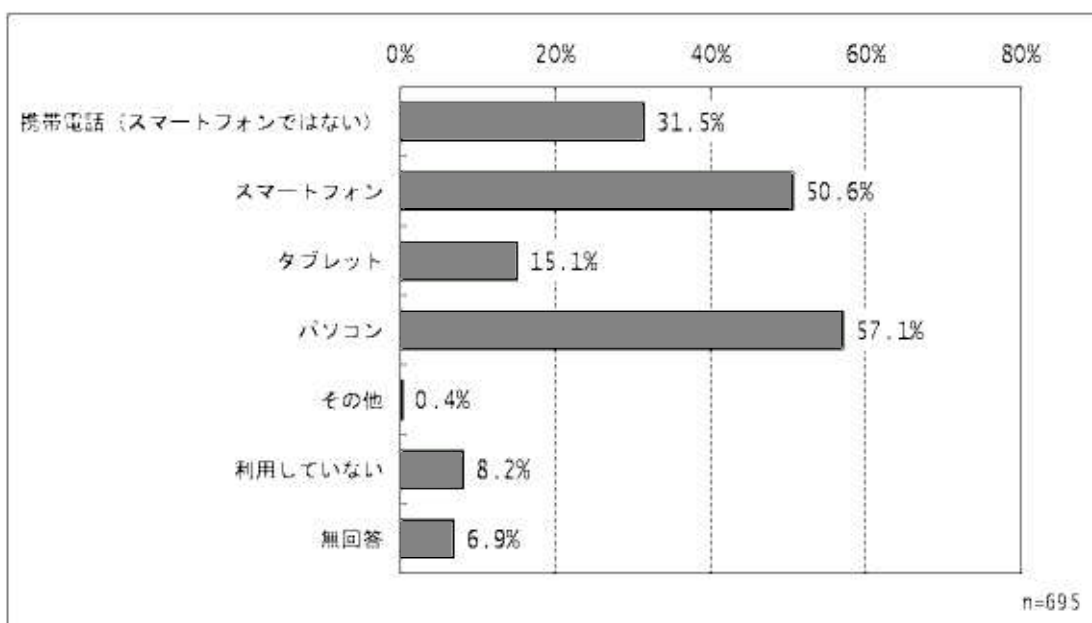


[何時まで]



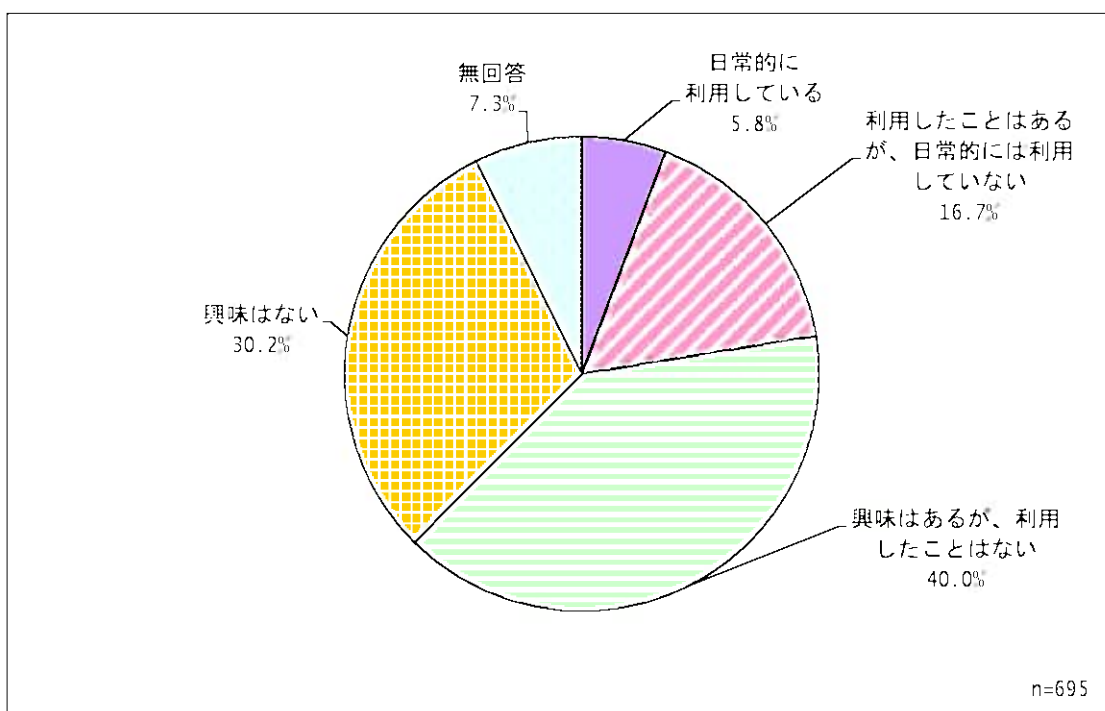
5 電子書籍・資料の活用について

問23 あなたが現在利用している電子端末は何ですか？（該当するものを全て選択）



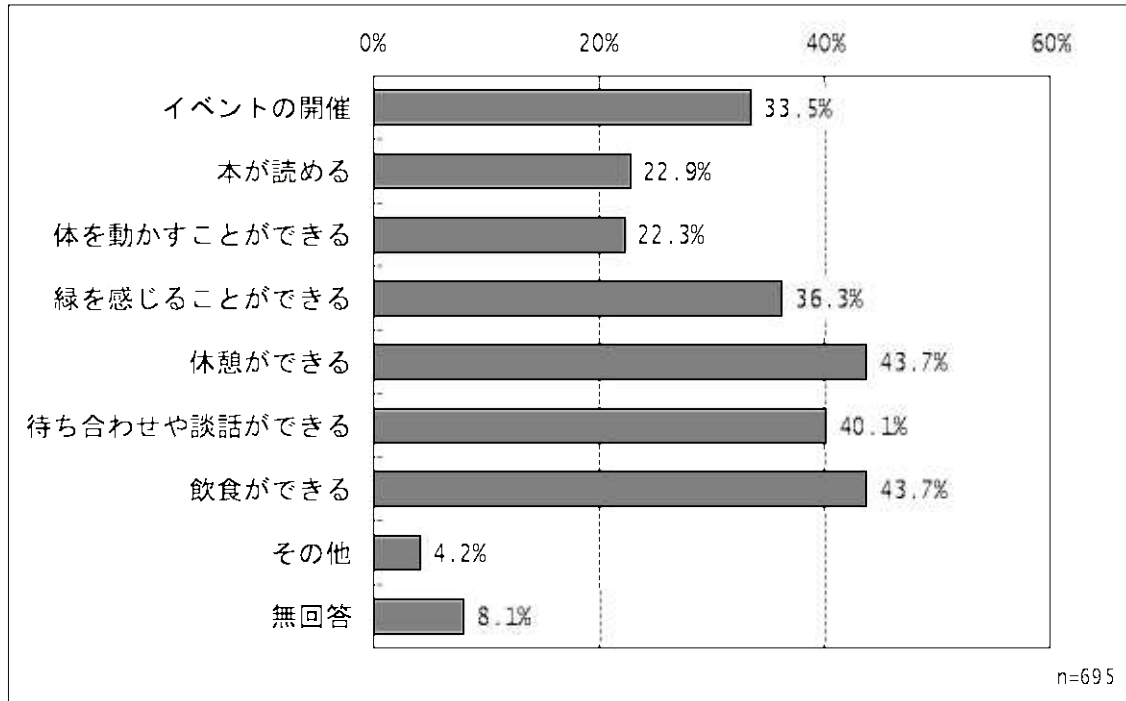
5 電子書籍・資料の活用について

問24 近年、書籍など出版物の情報を電子化し、電子端末の画面上で閲覧ができる電子書籍等が注目されています。あなたは、ご自身が持つ電子端末で、電子書籍等を利用していますか？



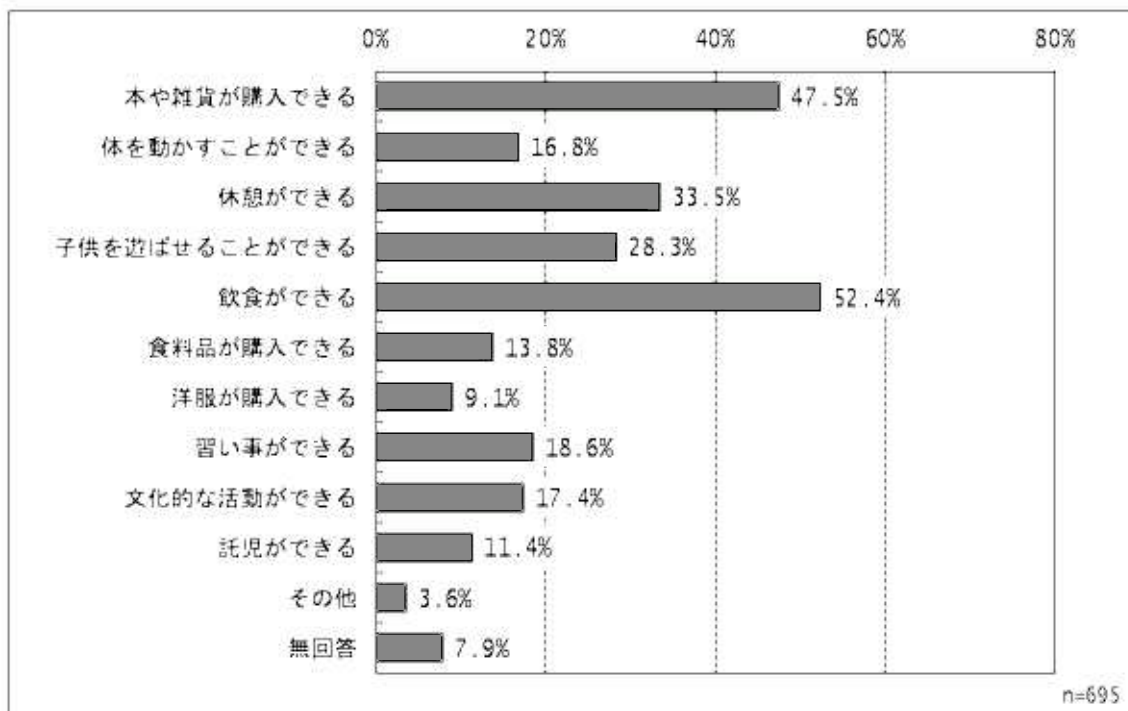
6 周辺施設について

問25 今回の再開発事業では、再開発ビルと一体的に、多目的に使い、緑地も備えたまちなか広場（仮称）も整備していくこととしています。まちなか広場（仮称）では、どのようなことができればよいと思いますか？（該当するものを3つまで選択）



6 周辺施設について

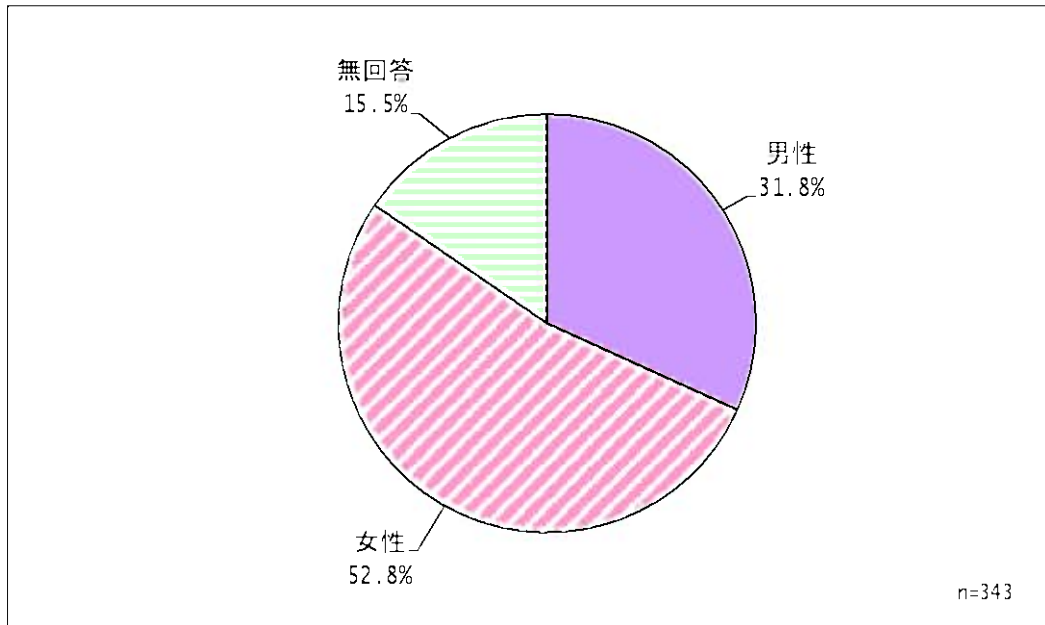
問26 再開発ビル内には図書館の他に商業・サービス業等の入居が予定されており、図書館はそうした商業・サービス業との連携を図っていくこととしています。再開発ビルでは、図書館利用とあわせて、どんなことができればよいと思いますか？（該当するものを3つまで選択）



(2) 図書館アンケート

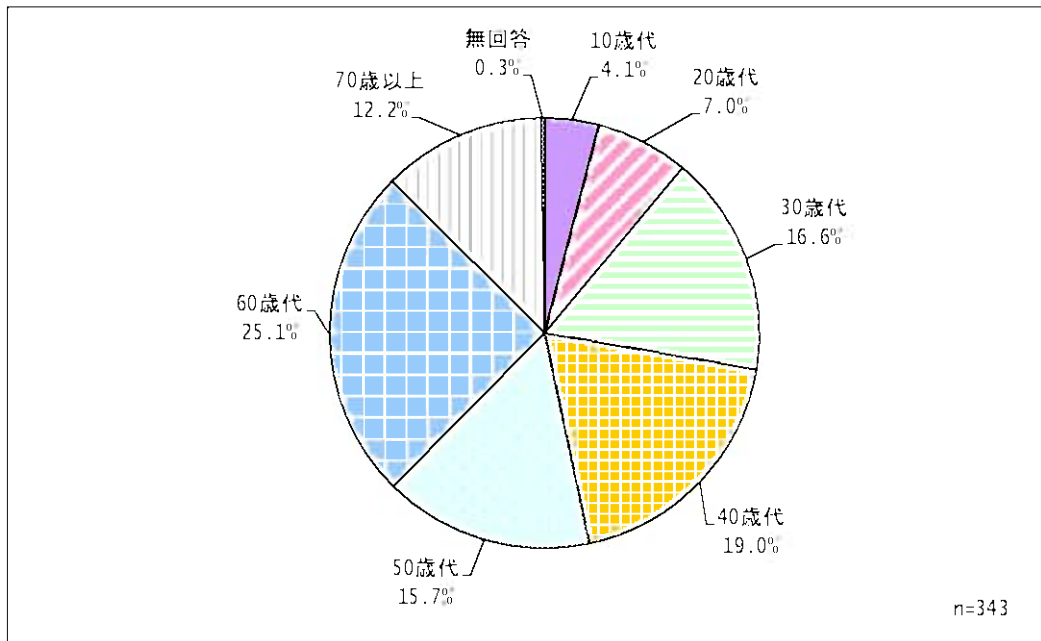
1 あなたご自身のことについて

(1) あなたの性別は？

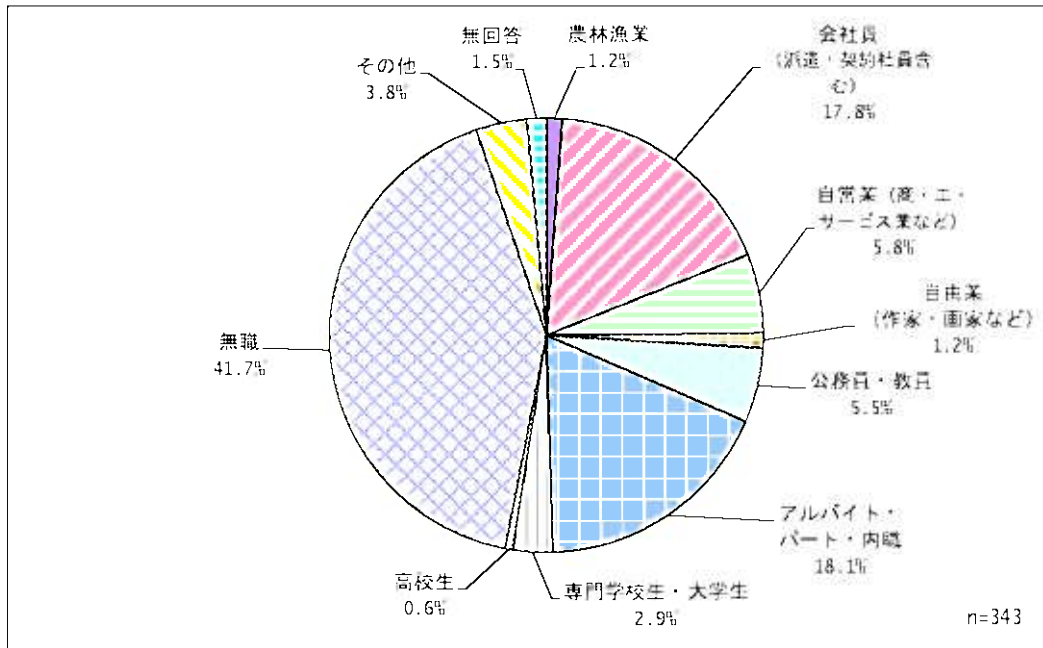


1 あなたご自身のことについて

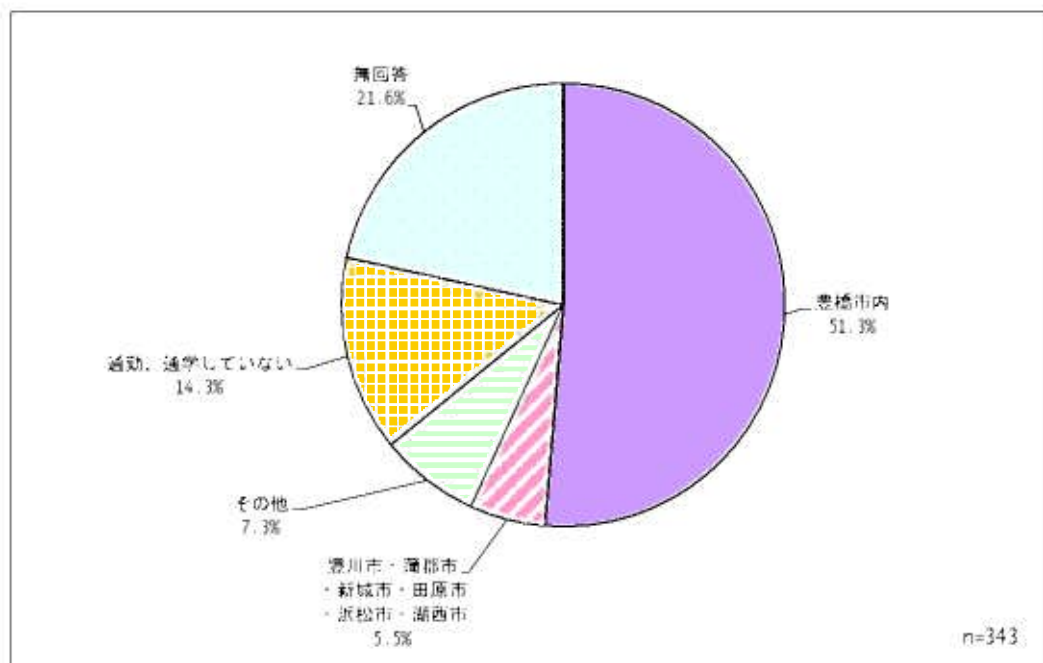
(2) あなたの年齢は？



1 あなたご自身のことについて  
 (3) あなたの職業などは？

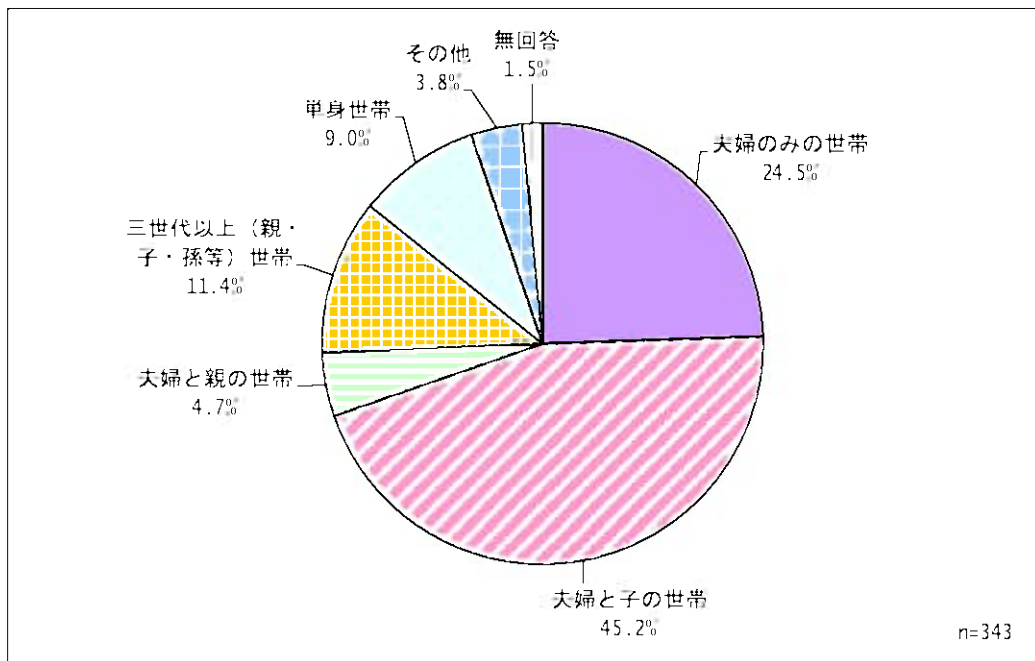


1 あなたご自身のことについて  
 (4) あなたの勤務先 (就業地) は？



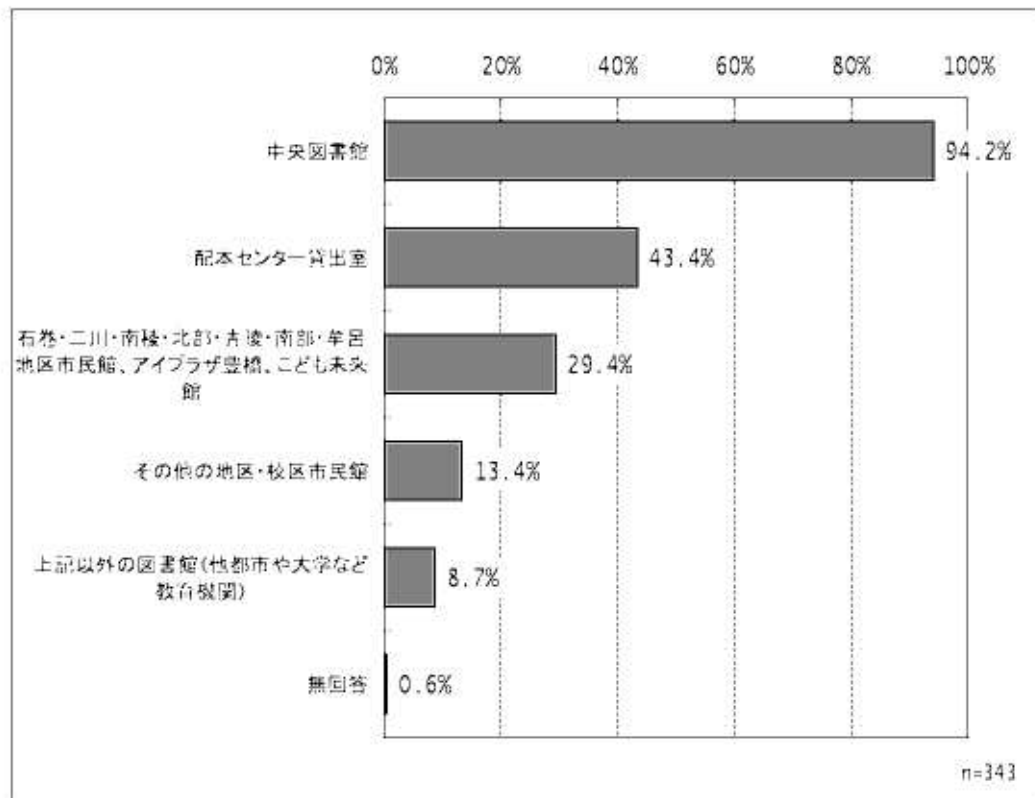


1 あなたご自身のことについて  
 (5) あなたの家族構成は？

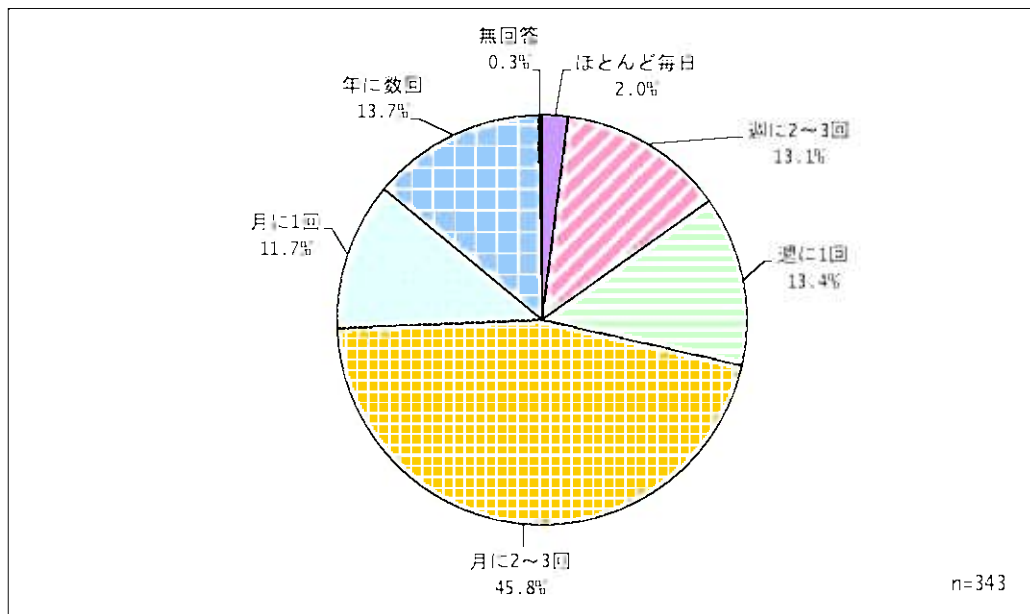


2 図書館利用について

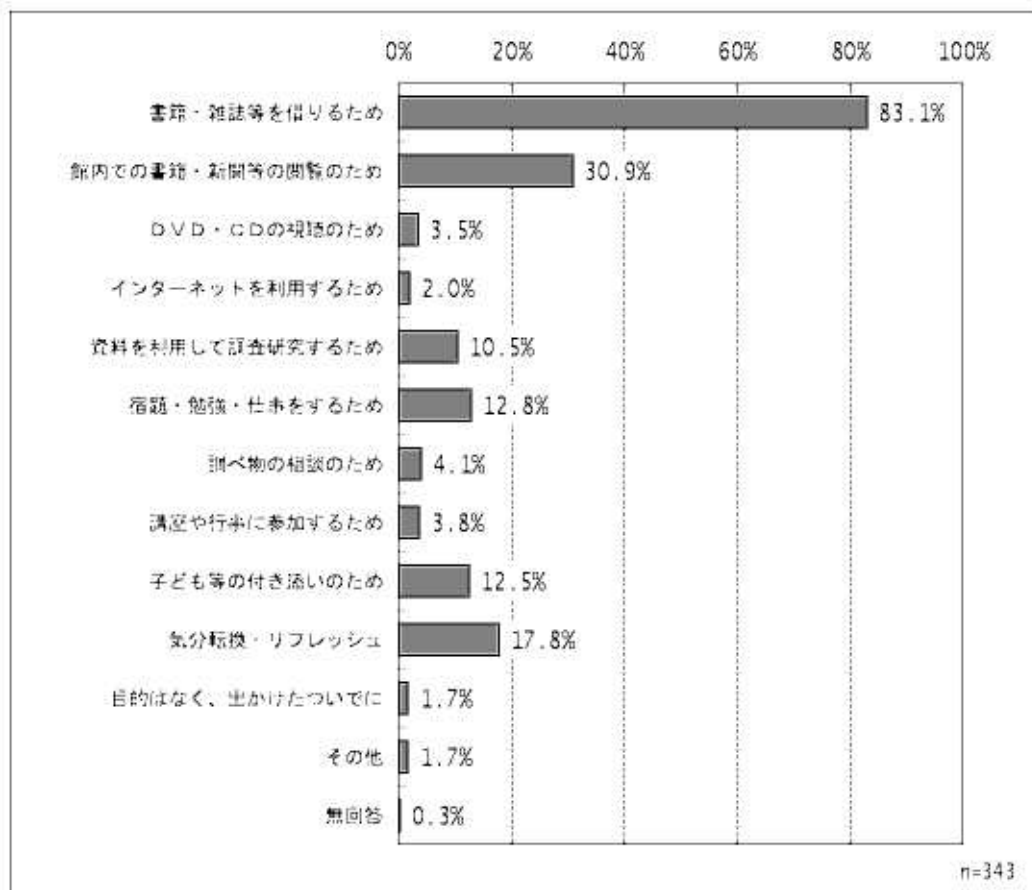
問1 あなたは、どの図書館を利用したことがありますか？(該当するものを全て選択)



2 図書館利用について  
 問2 図書館をどの程度利用していますか？

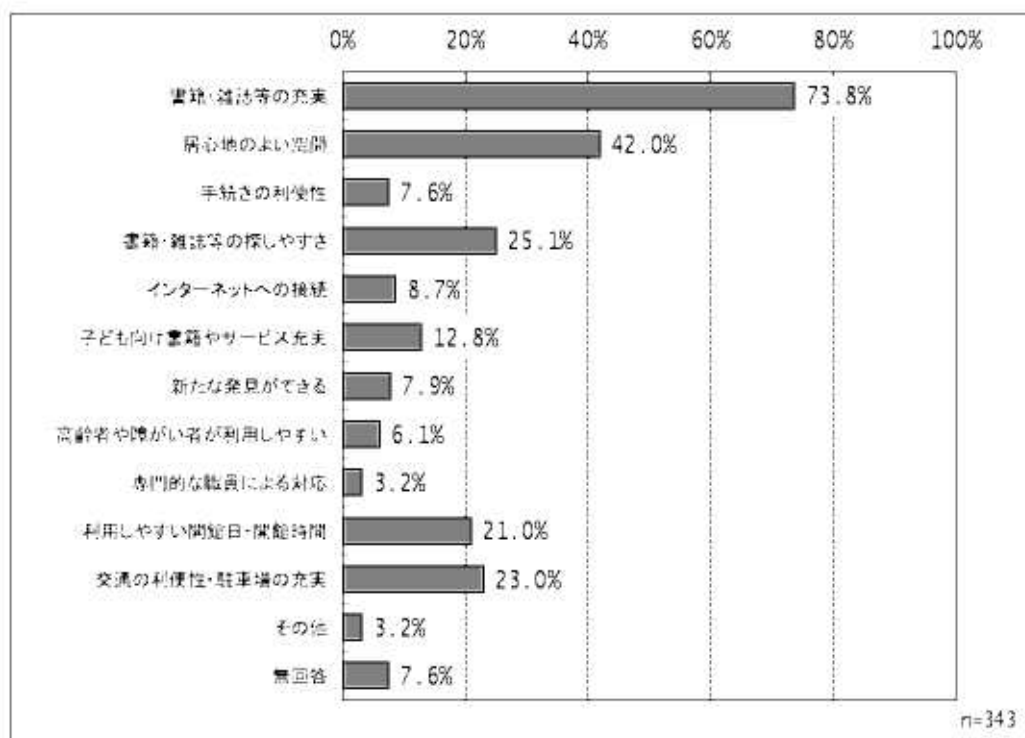


2 図書館利用について  
 問3 図書館を利用する際の目的は何ですか？（該当するものを3つまで選択）



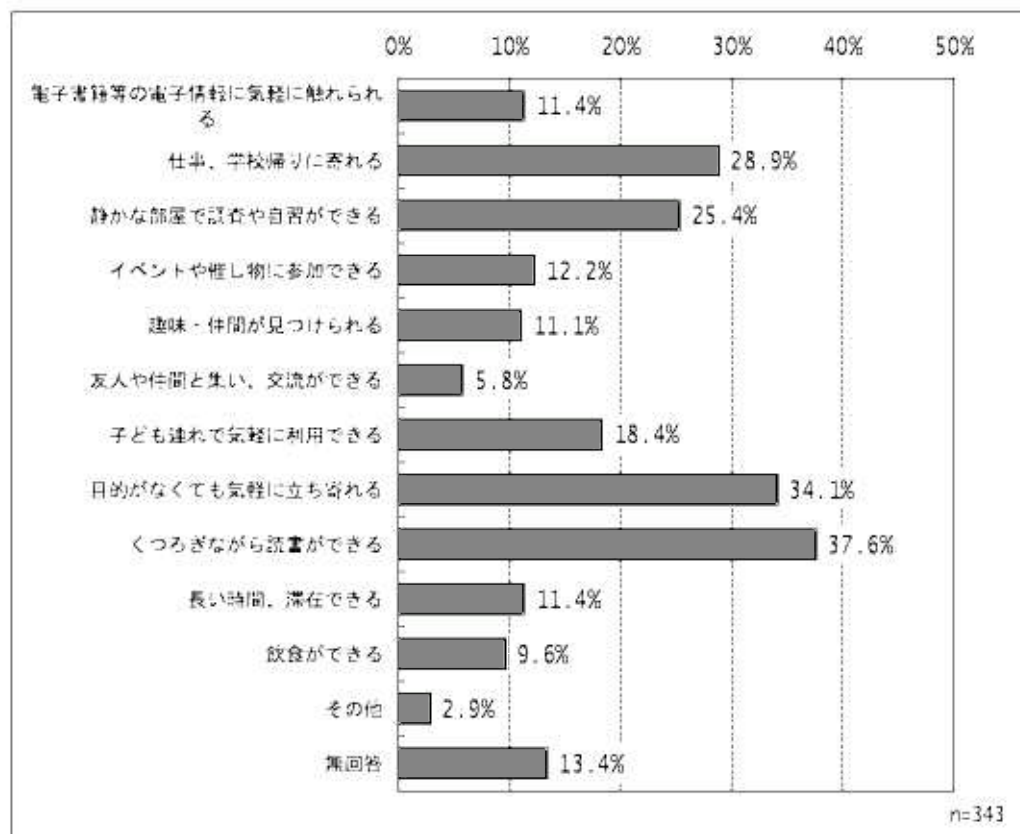
2 図書館利用について

問4 図書館を利用する上で望む点は何ですか？（該当するものを3つまで選択）



3 まちなか図書館（仮称）について

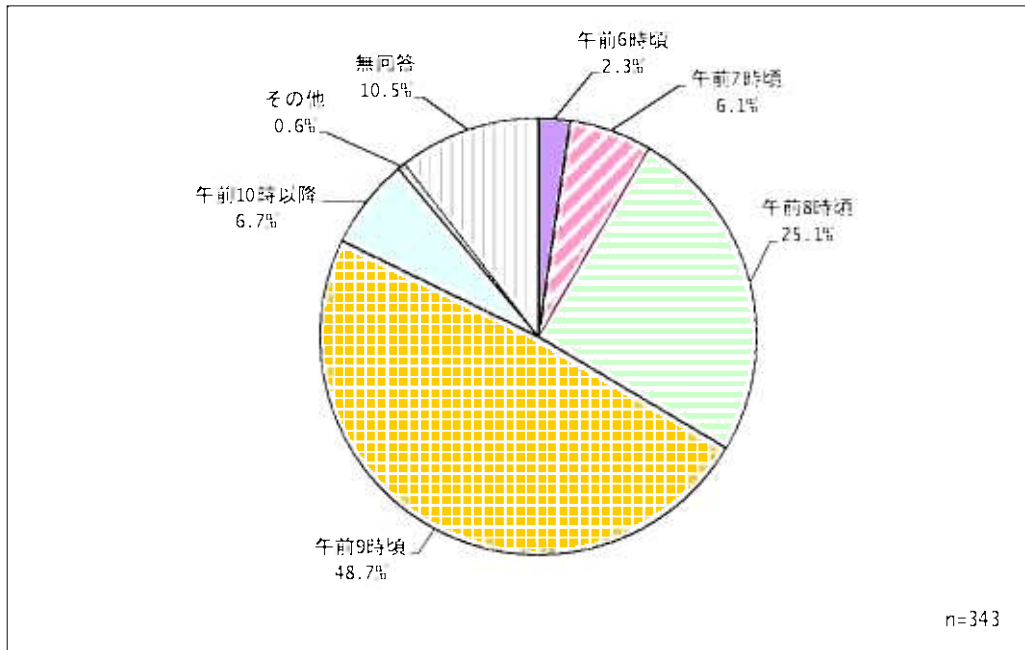
問5 まちなか図書館（仮称）では、どのようなことができればよいと思いますか？（該当するものを3つまで選択）



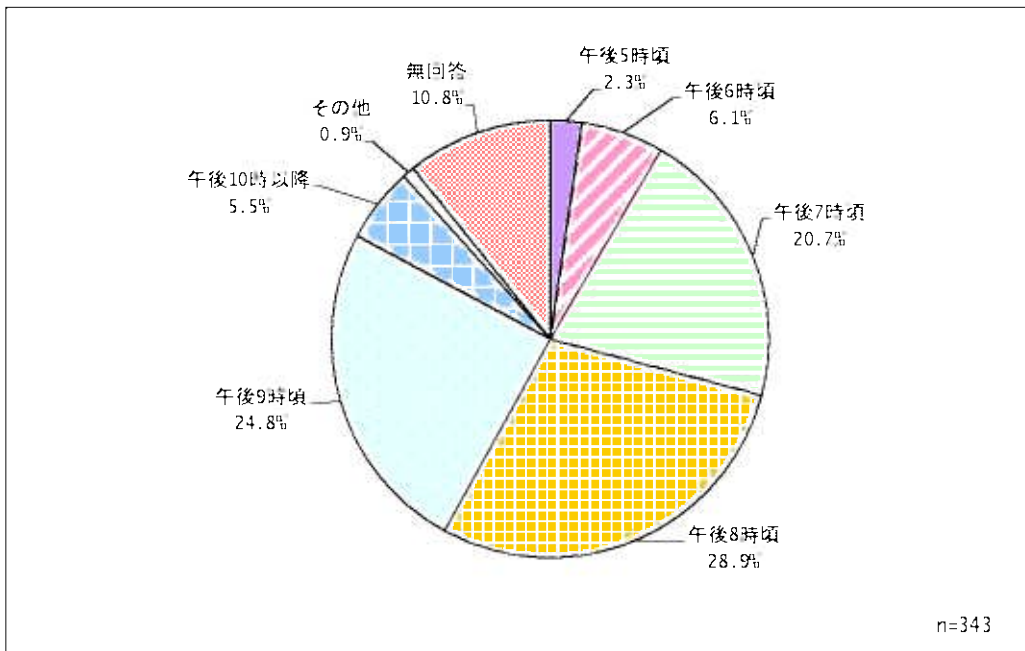
3 まちなか図書館（仮称）について

問6 まちなか図書館（仮称）はまちなかに立地する図書館としてふさわしい開館時間を何時から何時までと考えますか？

[何時から]

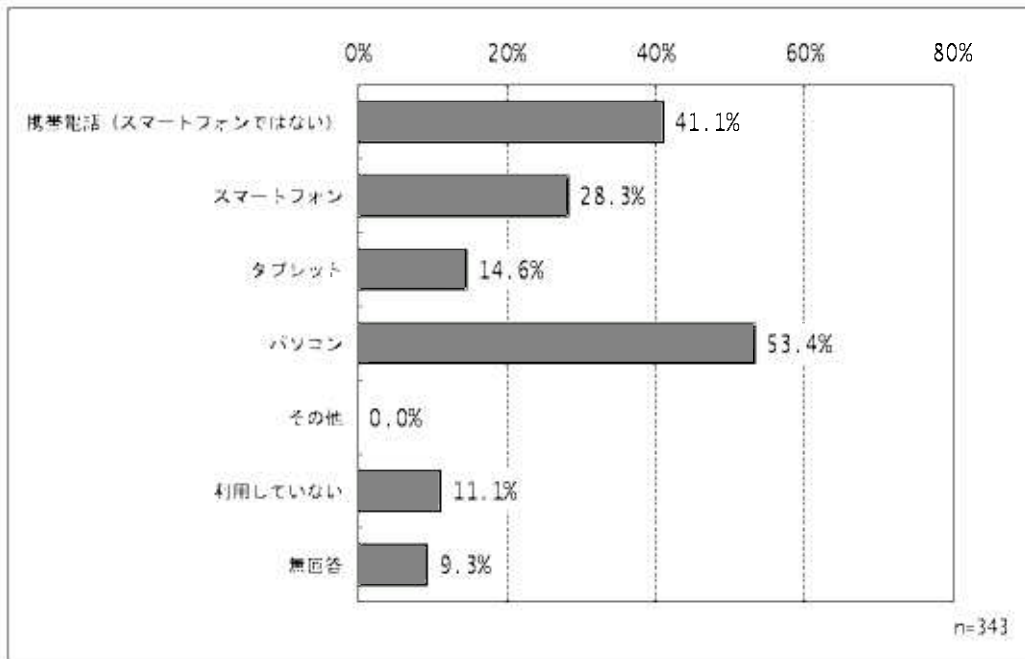


[何時まで]



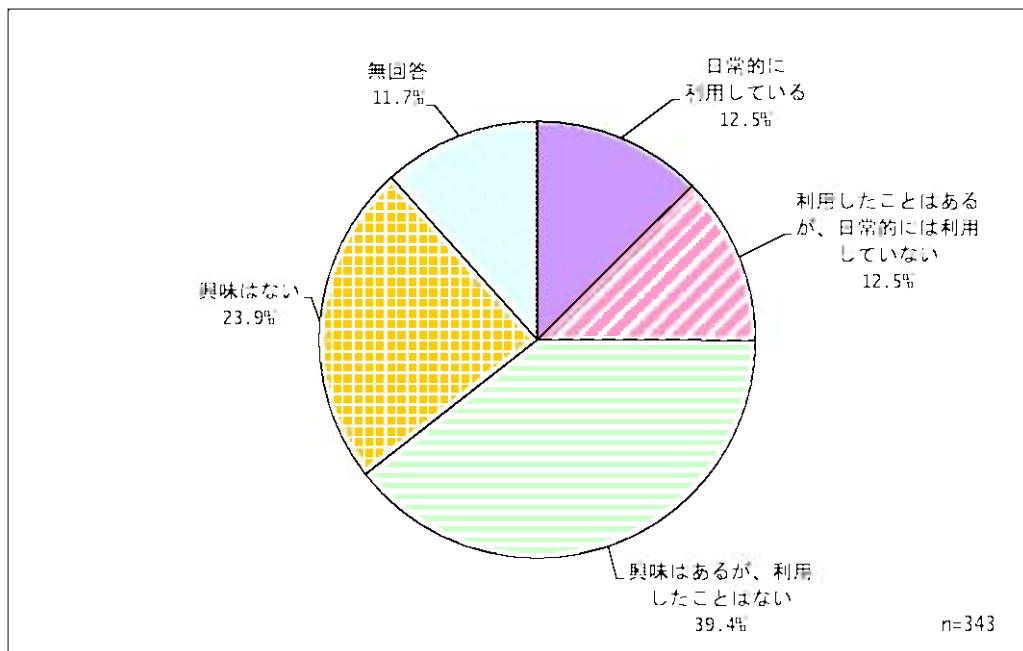
4 電子書籍・資料の活用について

問7 あなたが現在利用している電子端末は何ですか？（該当するものを全て選択）



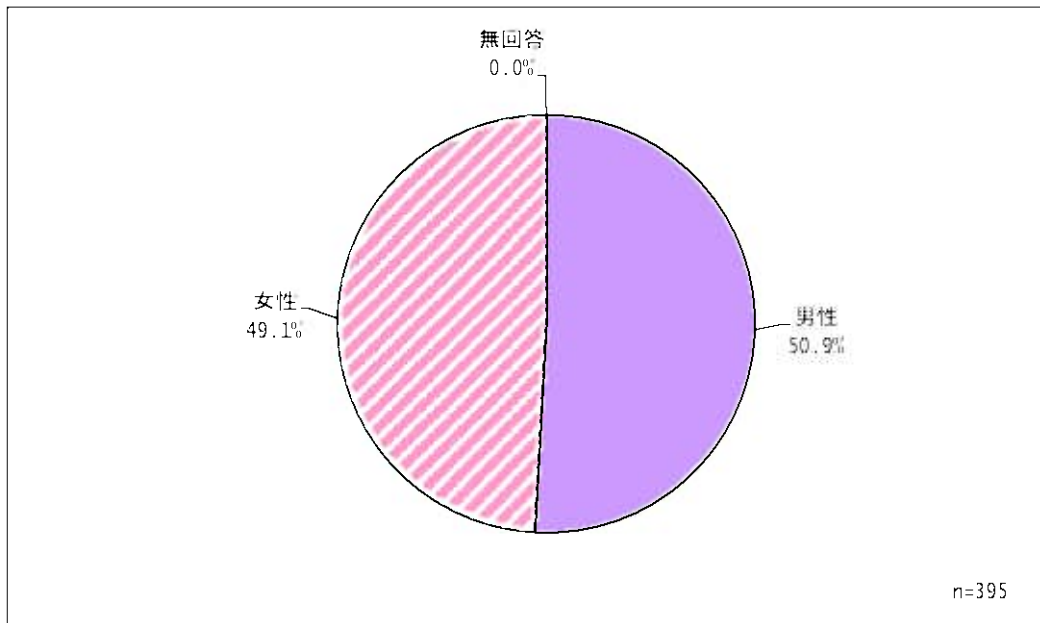
4 電子書籍・資料の活用について

問8 あなたは、ご自身が持つ電子端末で、電子書籍等を利用していますか？

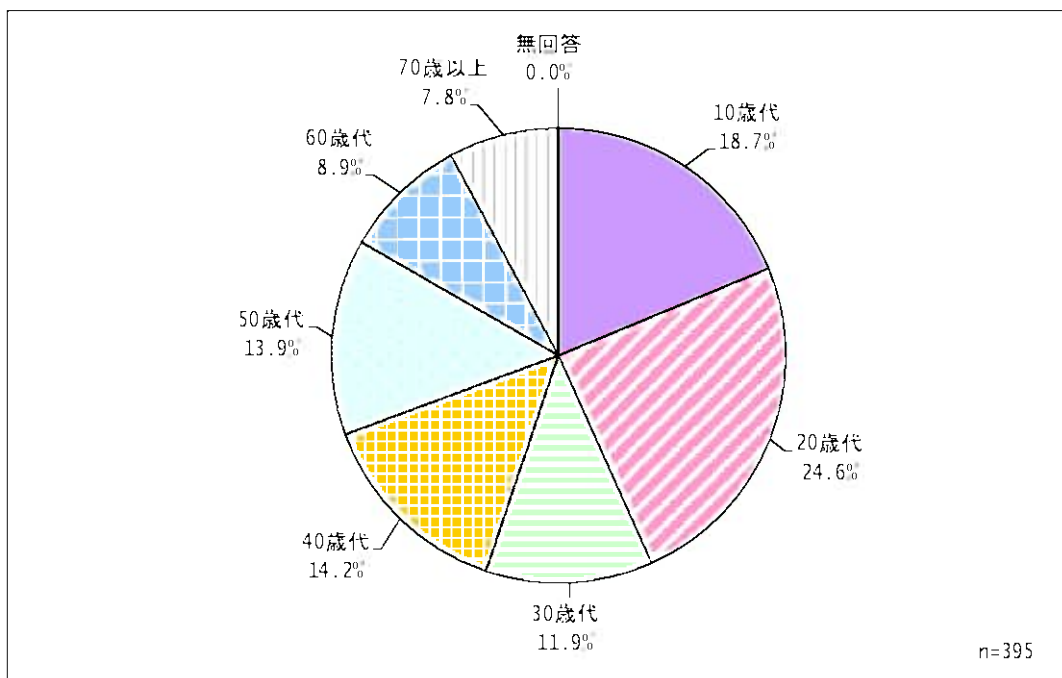


(3) 中心市街地アンケート

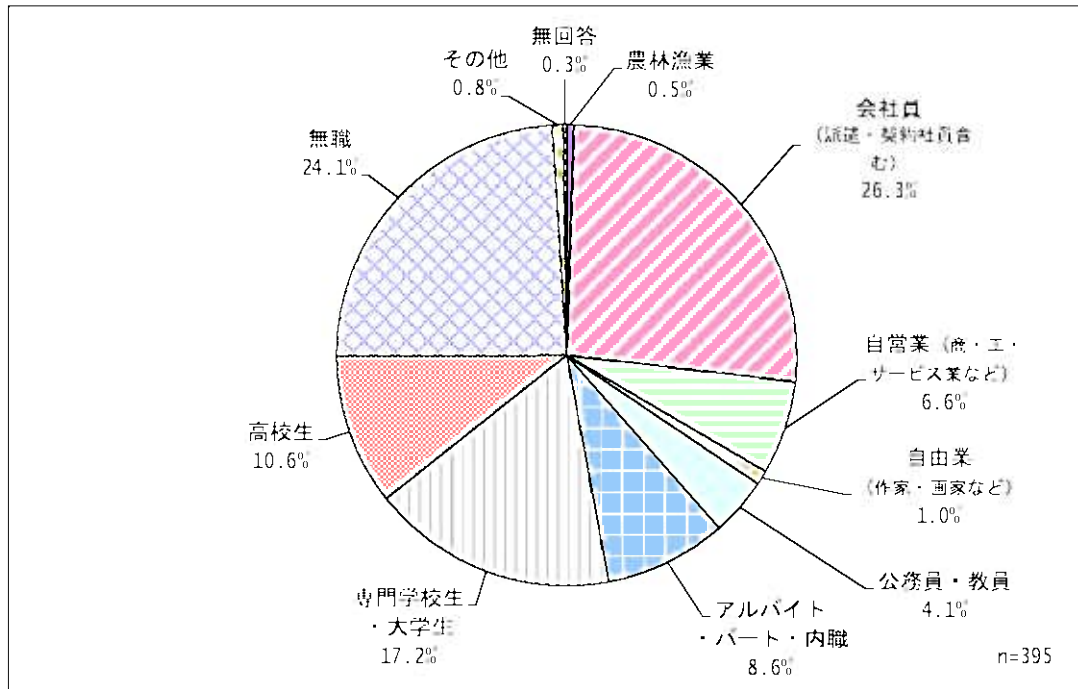
1 あなたご自身のことについて  
(1) あなたの性別は？



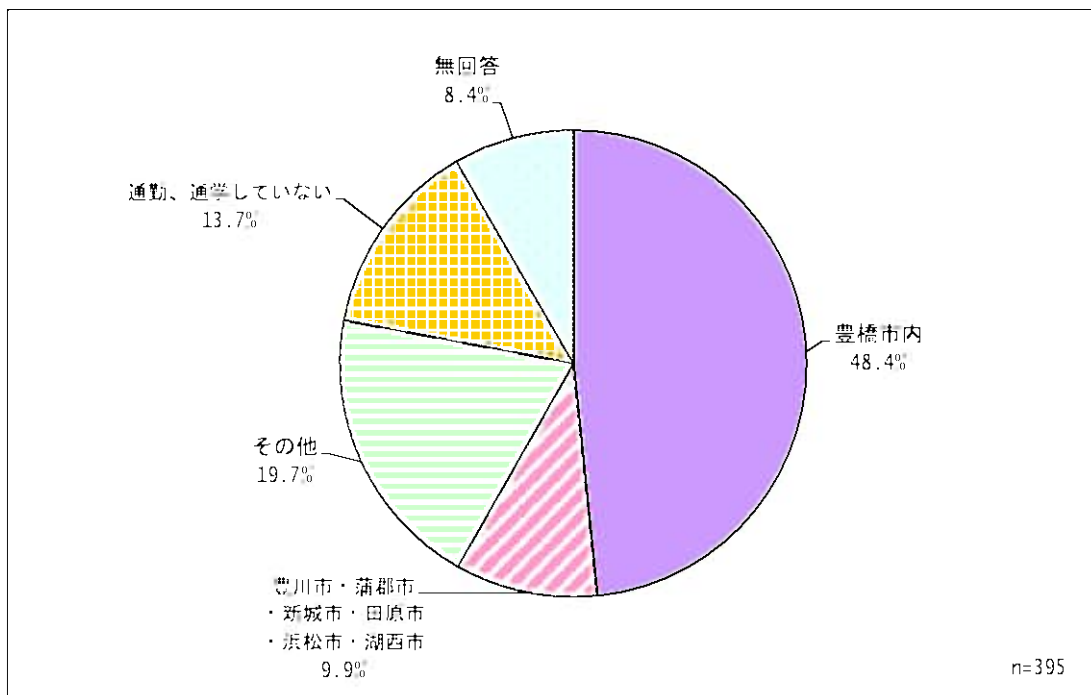
1 あなたご自身のことについて  
(2) あなたの年齢は？



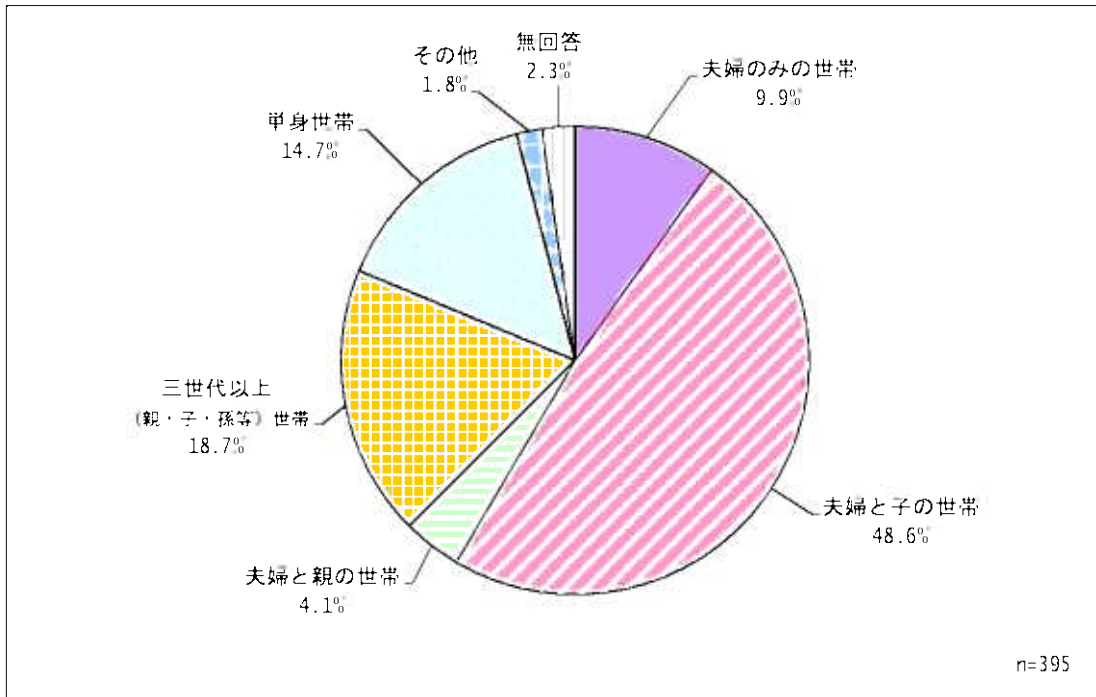
1 あなたご自身のことについて  
 (3) あなたの職業などは？



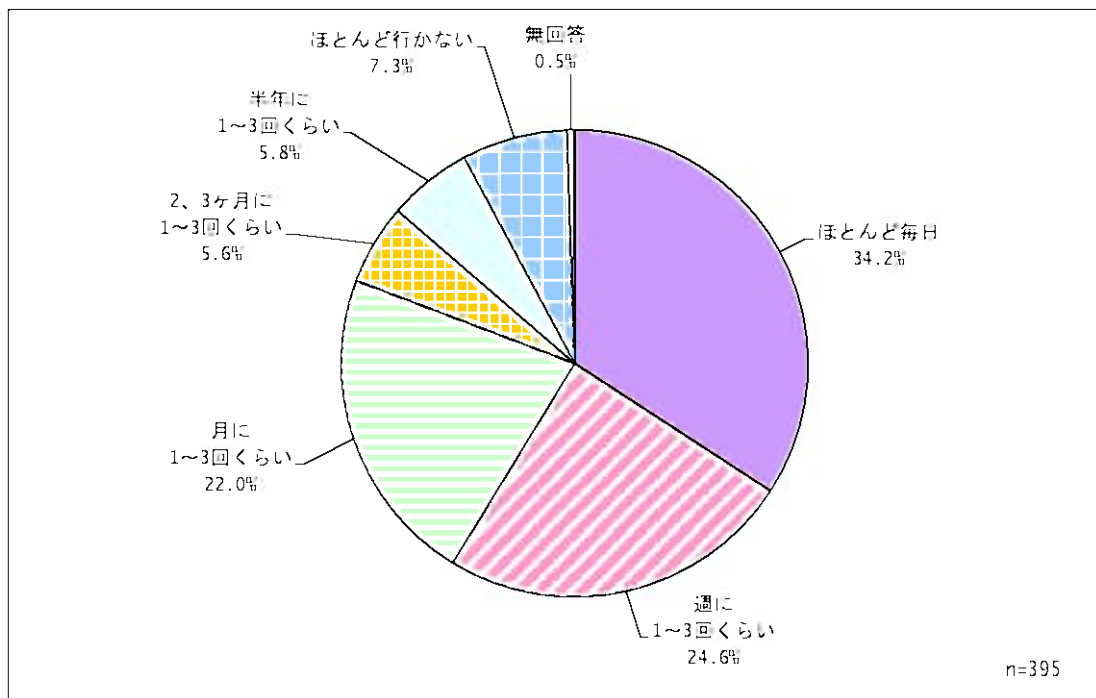
1 あなたご自身のことについて  
 (4) あなたの勤務先 (就業地) は？



1 あなたご自身のことについて  
 (5) あなたの家族構成は？



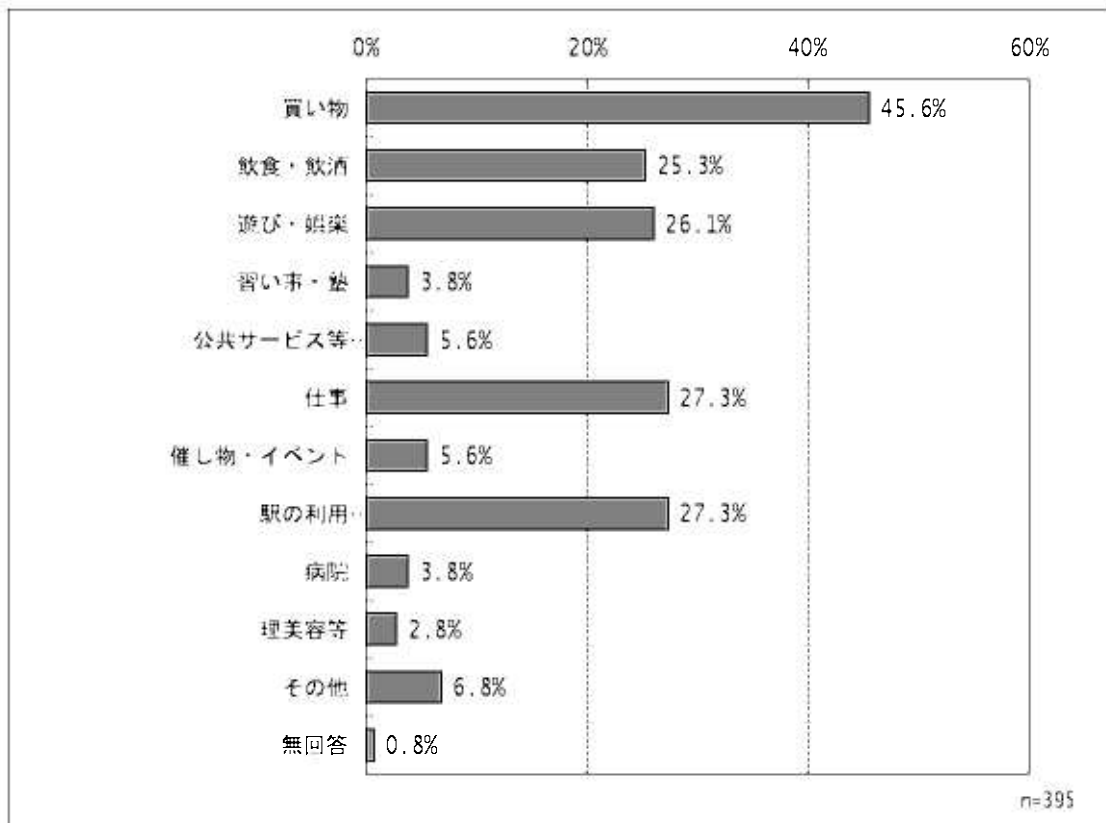
2 豊橋駅周辺への来街について  
 問1 あなたは豊橋駅周辺にどのくらいの頻度で来られますか？





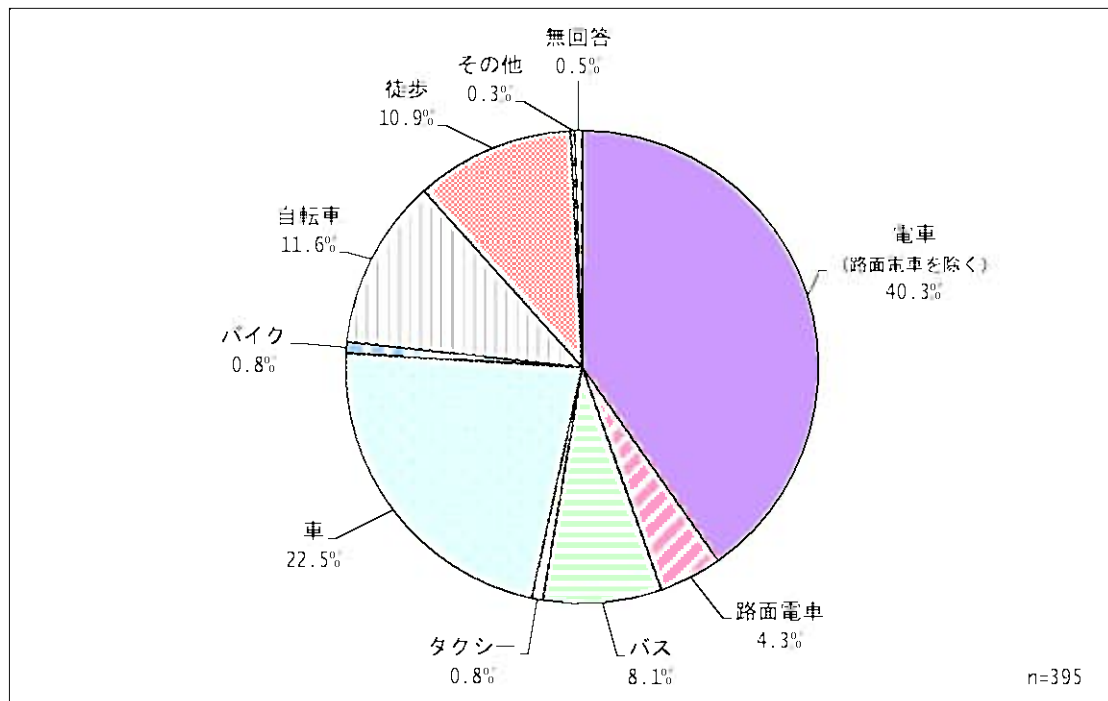
2 豊橋駅周辺への来街について

問2 豊橋駅周辺にはどのような目的で来られますか？（該当するものを3つまで選択）

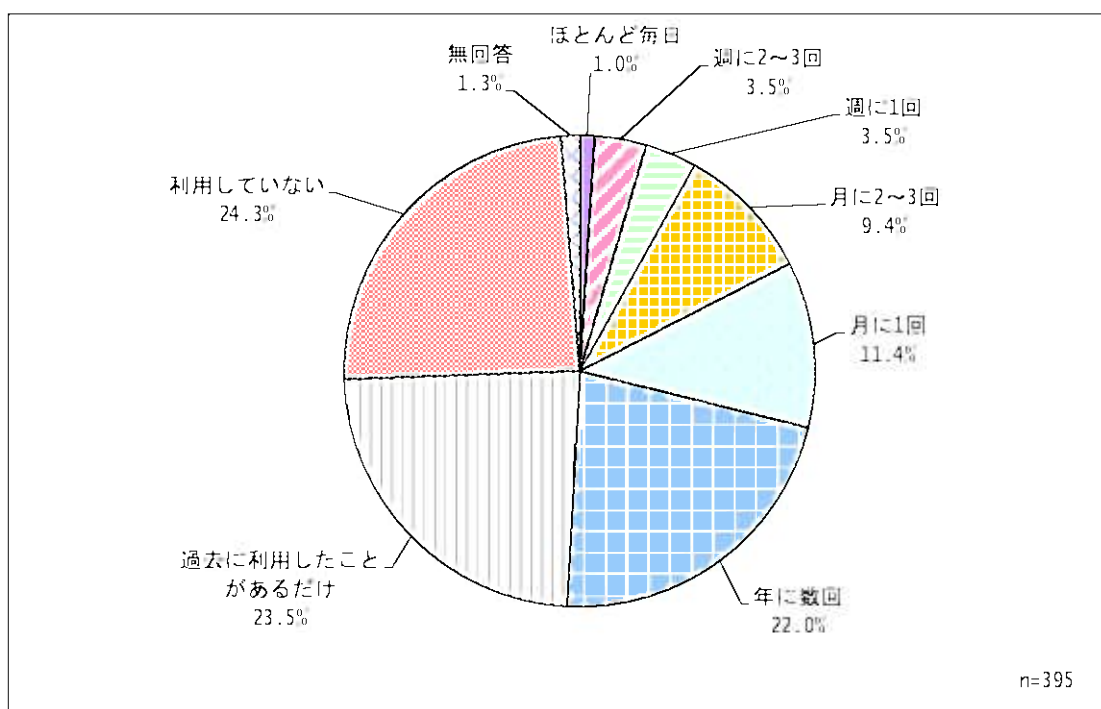


2 豊橋駅周辺への来街について

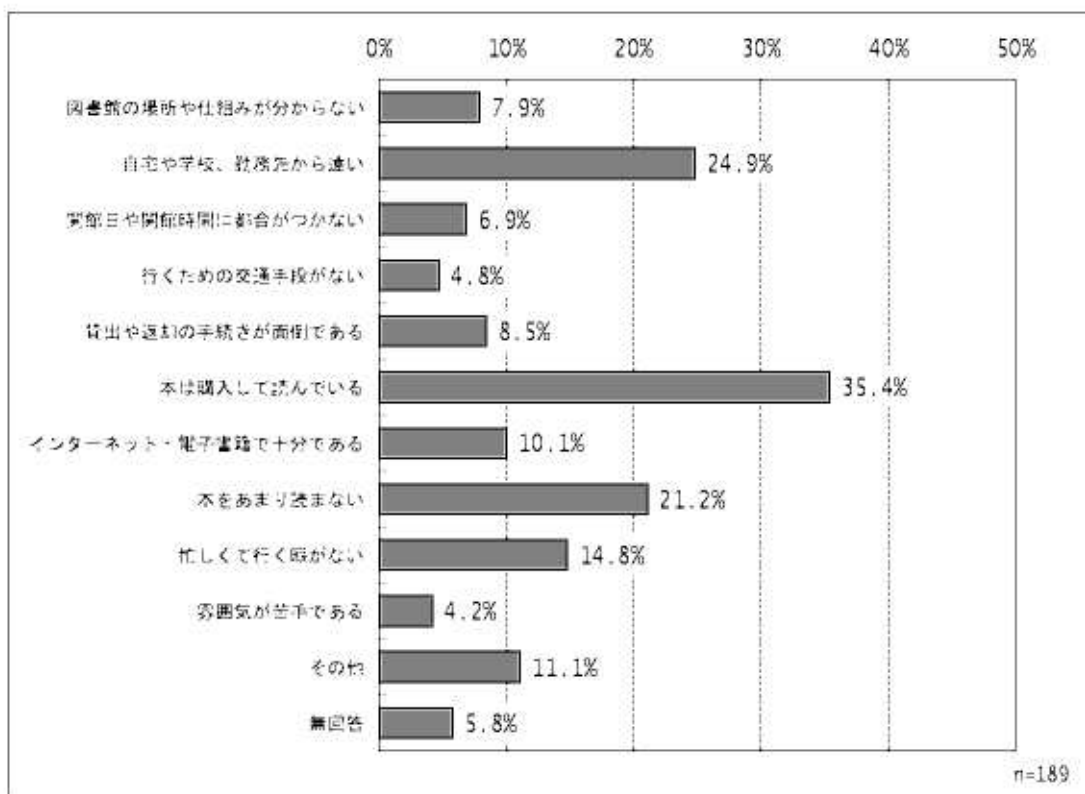
問3 豊橋駅周辺へ来るための主な交通手段は何ですか？



3 図書館利用について  
 問4 図書館をどの程度利用していますか？

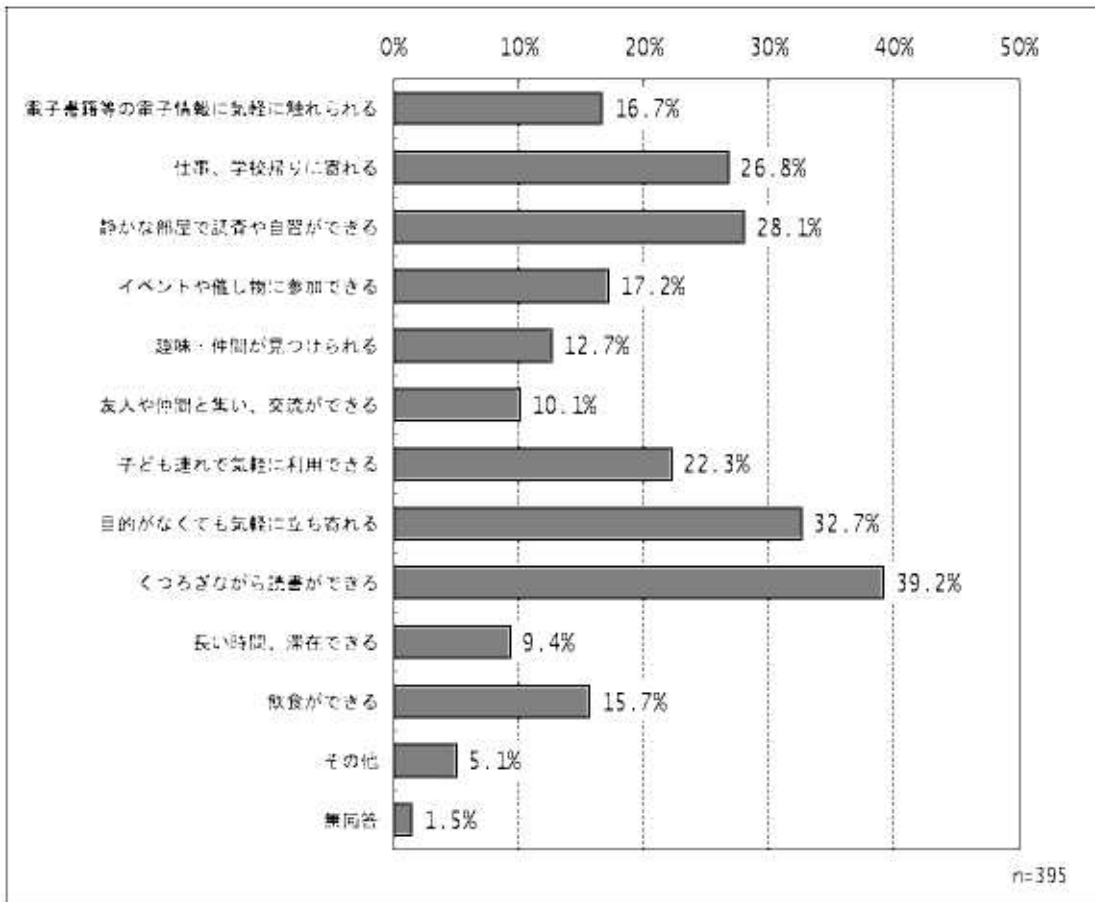


3 図書館利用について  
 問5 問4で「過去に利用したことがあるだけ」と回答した方、もしくは「利用していない」と答えた方にお尋ねします。その理由は何ですか？  
 (該当するものを3つまで選択)



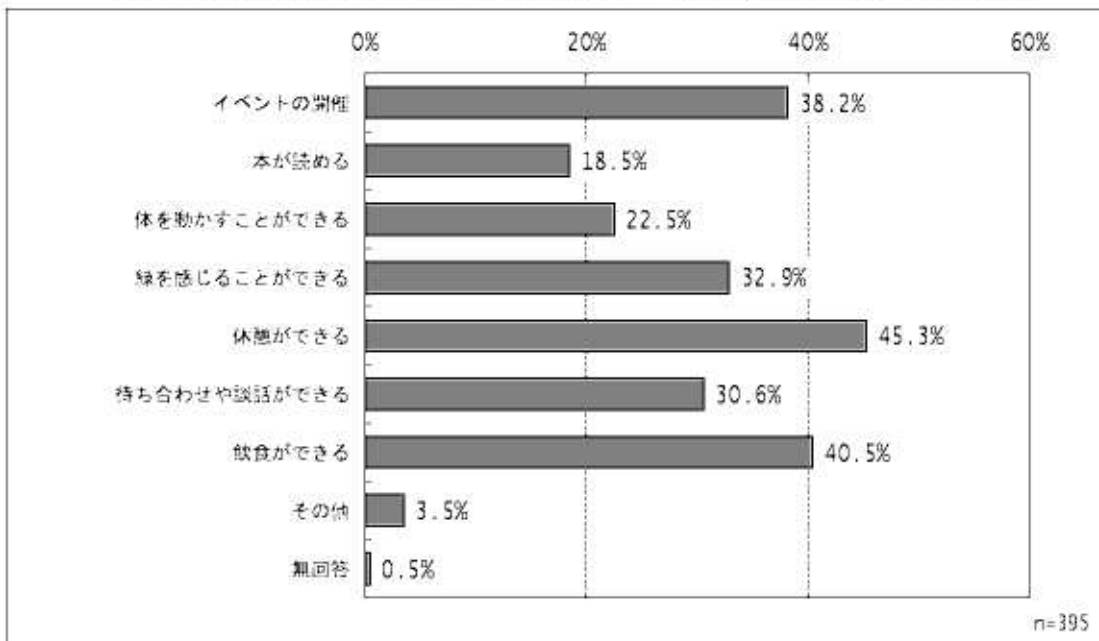
4 まちなか図書館（仮称）について

問6 まちなか図書館（仮称）では、どのようなことができればよいと思いますか？  
（該当するものを3つまで選択）



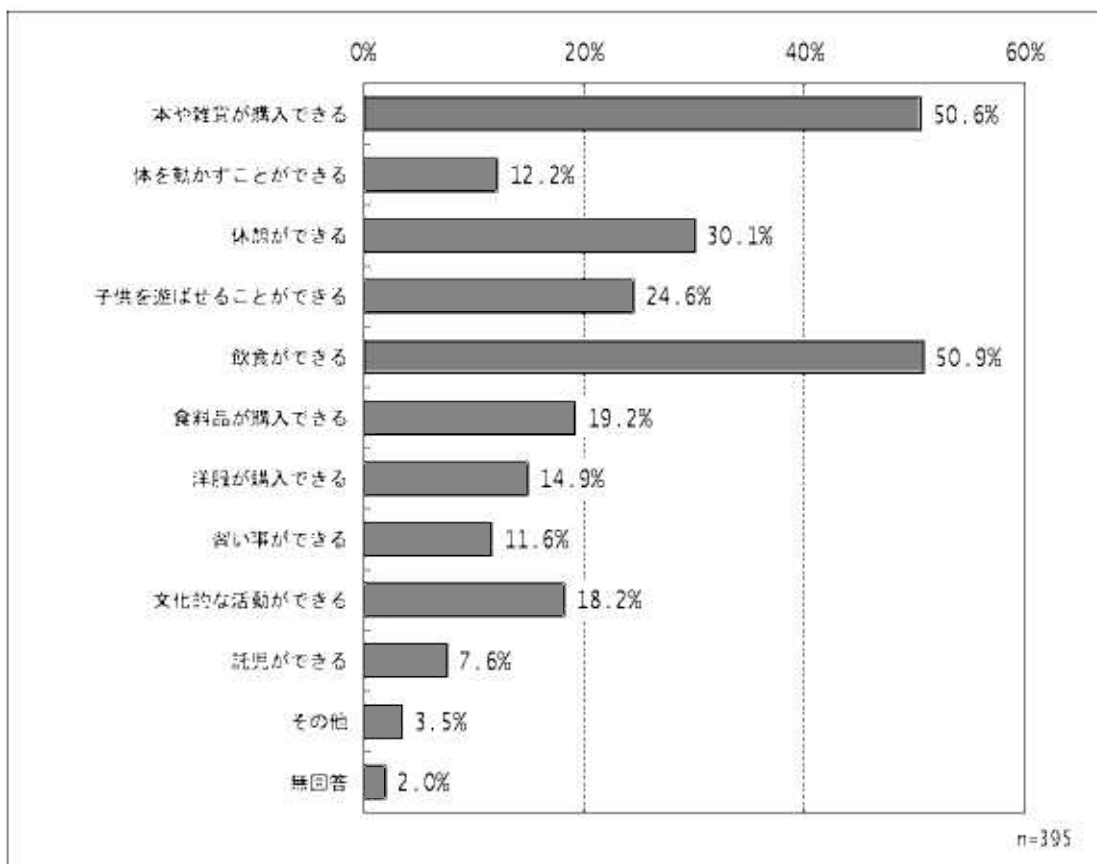
4 まちなか図書館（仮称）について

問7 再開発事業で共に整備予定のまちなか広場（仮称）では、  
どのようなことができればよいと思いますか？（該当するものを3つまで選択）



4 まちなか図書館（仮称）について

問8 商業・サービス業等の入居が予定されている再開発ビルでは、  
図書館利用とあわせて、どんなことができればよいと思いますか？  
（該当するものを3つまで選択）



### 3 市民意見交換会

#### (1) 第1回意見交換会

##### ア) 希望する図書館像について

開催日時	場所	参加人数
平成26年6月21日(土) 10:00~11:30	豊橋市役所	21名
平成26年6月24日(火) 19:00~21:00	豊橋市職員会館	21名
平成26年6月28日(土) 10:00~12:00	豊橋市役所	17名
平成26年7月 3日(木) 19:00~21:00	豊橋市職員会館	20名

##### イ) 主な意見

###### 意見の主旨

###### ○全体像について

- ・(街に出たついでに)図書館も寄りたくなるような魅力的な施設にしてほしい。
- ・市街地から離れて住んでいる人も来るような魅力的な施設にしてほしい。
- ・少子高齢化の中で人をどう呼ぶか。郊外から来る人には駐車場をどうするかなど、地に足を付けて考えることが、木長く利用できる図書館にするには大切だ。
- ・まちなか図書館では、他にはない居場所づくりをしてほしい。図書館は人の知的、精神的活動を満たす力を持っている一方で、経費もかかる。立地、使う人を踏まえ、10年、20年先を見据えた居場所づくりをしていくべきだ。
- ・まちなかでしかできない、枠を超えた図書館を目指してほしい。
- ・従来の図書館と違うもの、インパクトのあるものにしてほしい。例えば、電子書籍、様々な機器を利用できるものも考えるべきだ。
- ・この図書館に来て、人生が変わったと思うような図書館。

###### ○空間について

- ・建物内に一休みできる場所もほしい。
- ・2層程度を想定、とあるが、吹抜けの空間や屋上なら屋上庭園など、心地よい空間をつくってほしい。
- ・地元の木材なども使ってほしい。
- ・長居できる居心地の良い空間、食事、話ができ、人と人が触れ合える空間がいい。

- ・お洒落すぎるものでなく、ゆっくり閲覧できるものを希望する。
- ・飲食しながら読書に重点を置きすぎると、閲覧席が不足すると考えられる。
- ・棚が大きすぎるのはこまる。(自分で下に取りたい)
- ・いろいろな人が、気軽に訪れることができるものにしてほしい。
- ・話ができる空間も整備してほしい。(コミュニケーションを学ぶところが必要な時代)
- ・図書館は静かなほうがよいと思う。
- ・図書館は再開発ビルの1階に置いてほしい。
- ・車いす、ベビーカーも広々通れると良い。
- ・障がい者の方にも利用しやすい、居心地の良い施設をつくるために、意見を取り入れてほしい。
- ・障がい者にとってはコミュニケーションのシステムが必要である。すべての障がい者にとってバリアフリーとなるようにしてほしい。
- ・本を通じたコミュニケーションの場所の提供を願う。
- ・広い図書館は足腰の悪い人には使い勝手が悪い。空間の使い方を上手にほしい。
- ・居心地の良さも人それぞれ違う。ソファ等使いつらい人もいる。
- ・色々なところに、椅子等たくさん置いてほしい。
- ・喫煙ルーム等の整備を願う。
- ・居心地の良さは各世代によって違ってくる。
- ・子どもが静かに過ごせるようなものが居心地が良い。
- ・電磁波など子どもにとって悪影響のある施設では困る。
- ・明るく開放的な空間になればと思う。

#### ○本・運営に関すること

- ・どんな本を置くか、市民の意見を聞いて決めてほしい。
- ・蔵書を少なくして、良書を紹介する展示会(ショールーム)の場のようなものが良い。蔵書10万冊は多すぎて、狭苦しいと感じるかもしれない。
- ・専門の知識を持つ方で施設を運営すべき。
- ・発信型の図書館にしてほしい。
- ・本を利用したイベントも面白いと思う。
- ・まちなか図書館には文学以外の図書(中央図書館にはある)を用意し、本を利用したワークショップなどを行う。
- ・図書館は接客サービスも大切だと思う。

#### ○図書館の利用者に関すること

- ・図書館に若者が集まってもらい、そこでのいろんなことを(マナーも含め)学んでほしい。大事に使ってもらえるように育てていくことも必要だと思う。
- ・特色のある図書館にするには、ターゲットを絞ることが必要。豊橋市の人口構成、将来像と照らし合わせて、どこの世代を手厚くするか考えると良い。

- ・ターゲットは絞らない方がよい。誰でも居心地のよい空間をつくってほしい。
- ・駅に近いということで、日頃図書館サービスを受けにくい人を対象とすべきと思う。
- ・まちなかに来てくれる人とは、どのような人が考える必要がある。
  - ①子育て世代の女性…この時期に子どもに本を読む習慣できる。親子で利用でき、ライフステージを広げられる施設が考えられる。
  - ②ビジネスマン、高校生、大学生…ビジネスマンは利用時間の関係上図書館を利用できない。そのため開館時間を長めにし、情報交換の場所とするのはどうか。また、その方々に、高校生、大学生向けにワークショップ等を行ってもらい、将来何ができるのか、インターンシップ的な事も可能であるとする。
  - ③セカンドライフ（退職者）世代…再開発ビルにはマンションができ、都心のマンションには高齢の方々が住まわれることが多い。そのため、そうした人々の“知的財産”を有効活用できる図書館とするのも良いと思う。

#### ○周辺施設との連携に関すること

- ・まちなかに図書館ができるのは喜ばしい。豊橋は娯楽施設、商業施設がバラバラで歩いて行ける距離にない。通勤の帰りに寄れる場所がよい。複合施設だと尚嬉しい。
- ・プラット、美術博物館など、他の公共施設との棲み分け、連携は考えていくべきだと思う。
- ・図書館というと本を中心に考えてしまうが、その土地の情報をわかりやすくするフラッグシップの様な役割も果たしてほしい。一歩先に行く図書館像を考えたい。
- ・図書館だけで、もしくは店だけで人を呼びこむのは大変。公と民が良い意味で合体して市を盛り上げることができたらいい。
- ・広場を整備するということなので、出入りを自由にしてもらいたい。外の広場と中の図書館との一体感を出してほしい。また、回廊等を作り、人の動線を考えてほしい。
- ・2層となっているので、図書館の位置が1、2階ならば広場との連携は可能。3、4階となっても屋上庭園等も考えられるのでは。平面的な考えだけでなく、立体的な考えも取り入れてもらいたい。

#### ○交通アクセスに関すること

- ・豊橋の公共施設は車社会を想定してつくられている。人が歩かない町は寂れる。人が歩く仕組みを考えるべきだ。
- ・公共交通機関との連携は考えるべきだ。
- ・駅前大通は大きいので動線が切れてしまう。
- ・高齢者は行きたくても行けないという状況にある。良い施設で、便利に行けるのであれば、みんな利用すると思う。
- ・豊橋駅からのルートの説明が必要。立地を踏かしたルート案内をしっかりとってもらいたい。

## (2) 第2回意見交換会

### ア) まちなか図書館整備の考え方について

開催日時	場所	参加人数
平成26年12月3日(水) 19:00～20:50	職員会館5階	7名
平成26年12月7日(日) 14:00～16:00	こども未来館ここにこ	14名
平成26年12月10日(水) 19:00～20:50	穂の国とよはし芸術劇場プラット	15名
平成26年12月13日(土) 10:00～12:00	中央図書館	12名

### イ) 主な意見

意見の主旨
<p>○計画に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークショップの意見のページで“視覚、障がいのある方へのサービスの充実”の記述について、図書館が収集する資料としての視点が足りないと感じた。(下話の他に字幕資料など)計画の中では適切な表現をしてほしい。</li> <li>・基本理念の5番目、「次代のまちづくりと中心市街地のにぎわい創出に繋げる」が大切だと考えるが、この方針は機能に反映されていないのではないかと。基本理念はとても良いので、それを基本方針にも反映してほしい。また、機能にも「育てる」といった言葉がないので反映してほしい。</li> <li>・「施設整備の考え方」において、静かな空間とにぎやかな空間と明記されているが、この切り口ではない考え方もあるのではないかと。</li> <li>・静か、にぎやかという部分は削除してほしい。今はまだ可能性を無くす段階では無い。中央図書館とのすみわけを考え、「中央を静か、まちなかをにぎやか」であるとか、「中央をヘビーユーザー向け、まちなかを初心者」といったことも考えられる。</li> <li>・静か、にぎやかという部分は削除しないほしい。</li> <li>・資料に「にぎわい」がたくさん出てくる。商業施設やカフェを想定していると思われるが、初めは人が集まるが、古くなれば飽きられないか。古くなっても愛されるのが一番大事。</li> <li>・新しい利用者の掘り起こしは必要と考える。中年男性の利用が少ないと思われるのでビジネス支援などは有効ではないか。</li> <li>・まちなか図書館をつくるねらいを明確に出してほしい。</li> </ul> <p>○計画策定に関すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民と業者が同じテーブルで話す場がほしい。</li> </ul>



- ・まちなか図書館の利用について直接市民が関わって発言でき、取り込める機会を設けてほしい。
- ・市役所の人ともっとラフに話し合う機会を設ける動きがあっても良い。
- ・市の中心部のことなので、市が中心となって開発してほしい。
- ・司書などの専門的な資格、能力を持った人の意見が反映されるといい。
- ・プラットフォームは長年の市民活動の中でやっとできたものであり、作り方を見習ってほしい。狭間児童広場やスロータウン映画祭で活動している自主的なボランティアなどにも意見を聞いてほしい。
- ・自治会や他の団体にも案を出させればよい。

#### ○施設に関すること

- ・背が低い人でも届く書棚にしてほしい。
- ・イスは足腰の悪い人でも長時間座れるものがいい。
- ・トイレは広くて使いやすいものを。
- ・女性の安全を考え、防犯カメラの設置をしてほしい。
- ・東側に広場がほしい。
- ・図書館が4～5階にあったら気付かれないので図書館を目立つ大通り側に。
- ・ただ本があるだけの図書館はいや。雑誌があって待ち合わせにも使えるといい。
- ・若い人が集まる施設がいい。大学生のいく場所がなくなっている。
- ・大通り側から一目で図書館と分かるようにLEDのネオンサインを出してほしい。
- ・図書館は1階に配置してほしい。

#### ○運営に関すること

- ・“本や運営に関すること”について、しっかりとした専門の人材を確保してほしい。
- ・しっかりと力を持った人やリーダーシップを持った人に任せていってもらいたい。
- ・専門性が高い職員が必要ではないか。
- ・館長を公募するなどレベルの高いところを目指す必要がある。
- ・まちなかの情報など幅広い知識を持ったスーパー司書が必要でないか。
- ・早めに人を決めることで新しい施設の特徴が決まってくるのではないか。
- ・もっと外部からの人を入れたらよいと思う。実績のある人を外部から招く。
- ・スタッフ、司書など質のいい人がいると行きたくなる場所になる。

#### ○その他

- ・中心市街地の拠点全体を考えることが大切。ビルが建てなおされるということに価値がある。
- ・広場の形が図書館の性格も示すと思うので、私たちが考えていきたい。
- ・まちなかの人が郊外に出て買い物をする時代になった。頭を切り替えてほしい。
- ・少子高齢化についてもっと考えるべき。

## 4 市民ワークショップ

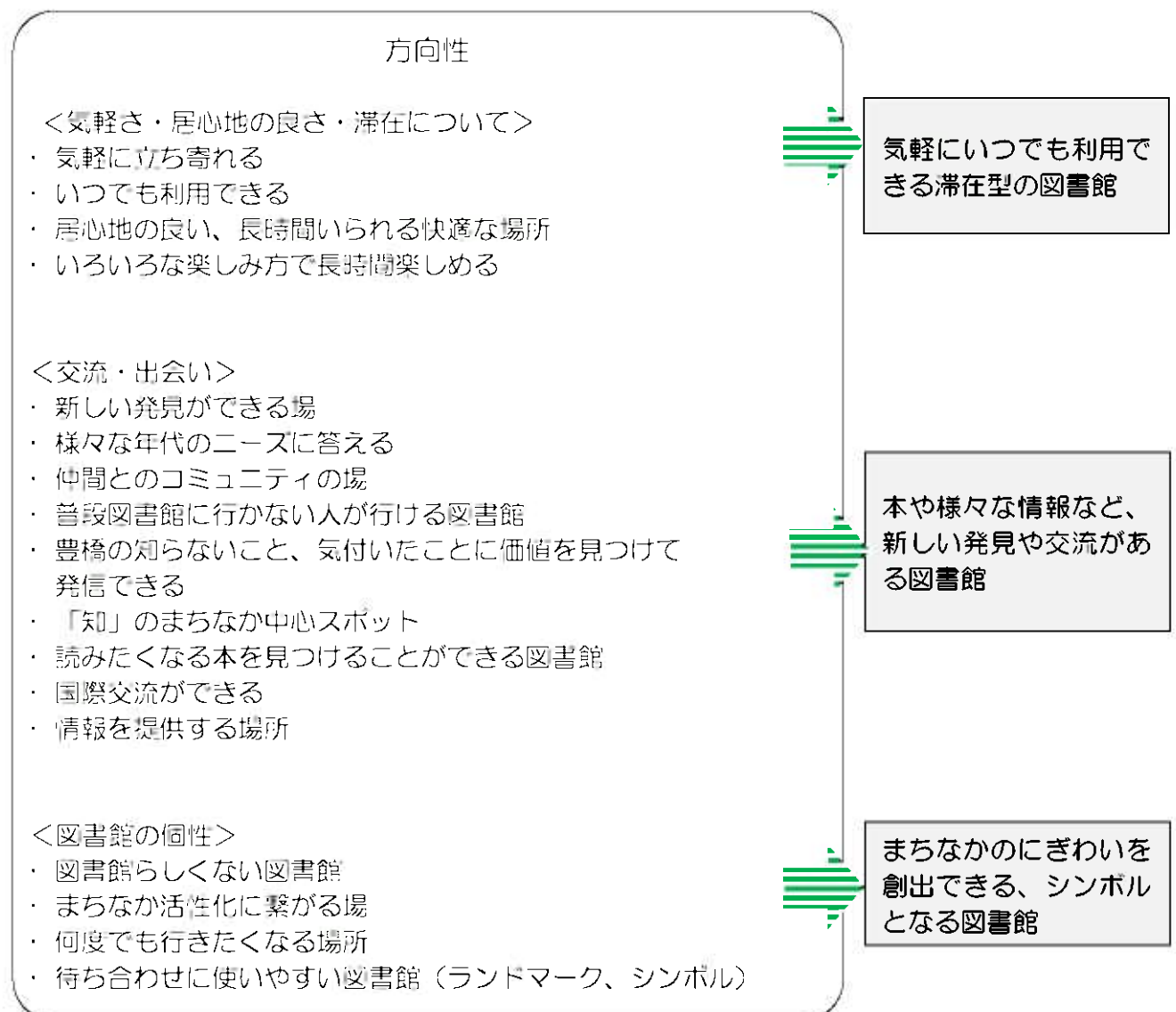
### (1) 概要

開催日	場所	内容
平成26年 9月10日(水) 19:00～21:00	豊橋市 職員会館	まちなか図書館の役割、目的について
平成26年 9月24日(水) 19:00～21:00		まちなか図書館の空間、雰囲気について
平成26年10月 8日(水) 19:00～21:00		まちなか図書館のサービスについて
平成26年10月22日(水) 19:00～21:00		まちなか図書館のゾーニングについて

### (2) 市民ワークショップの結果

ワークショップで出された意見を以下のとおり整理します。

【役割・目的】「いつ、誰が、どのように使う図書館としたら良いですか。」



<滞在>

- ・ リラックスして過ごせる空間
- ・ ゆったりとした時間が持てる場
- ・ ゆっくりと集中して本を楽しむ空間
- ・ たたみの上で本が読める
- ・ コーヒーなどを飲みながら本が読める

リラックスできて落ち着きのある空間

<スペース>

- ・ イベント関連図書などの特設コーナー
- ・ 子育て相談スペース
- ・ 市民がセミナーをできるスペース
- ・ 学生が勉強できる
- ・ コピーができるスペース

学生、子育て世代、市民の活動を支えるスペース

<環境>

- ・ 水・風・香りを感じる図書館
- ・ 子どもが走り回れる
- ・ 静かな場所とうるさくてもいいスペースがある
- ・ 明るくて居心地がよい空間
- ・ バリアフリー

誰でも使いやすく、明るく、にぎやかな場所と静かな場所がある

<ゾーニング・連携>

- ・ まちなか広場及び他周辺施設との繋がりがスムーズ
- ・ ゾーニングがうまくできている
- ・ 休日にショッピングした後に利用できる

ゾーニングを工夫し、他施設との連携がスムーズ

資料

- ・ たくさんなくても厳選された図書
- ・ 外国語図書の充実
- ・ 活字資料だけでなく、電子情報などが利用できる
- ・ 雑誌の充実

【空間・雰囲気】「図書館を使うにあたって、どのような空間・雰囲気が良いですか。」

### にぎやかな空間

#### 【音がある、音を出せる空間・雰囲気】

- ・ BGM がある
- ・ ミニコンサートができるスペース
- ・ 建物内の他の施設の活動が伝わってくる空間
- ・ 携帯電話が鳴ったりキーボードの音も許される空間がある
- ・ おしゃべりしていても邪魔にならない雰囲気の場所
- ・ 同世代で和気あいあいと過ごしたくなる雰囲気

#### 【子どもが利用できる空間】

- ・ 子どもたちが探していてワクワクする配置
- ・ 子どもが走りまわれる
- ・ 昼は子ども向けの雰囲気で明るく楽しい感じ
- ・ 子どもと読み聞かせができるスペース

#### 【市民参加】

- ・ 書き込めるボードの設置
- ・ 地域住民の作品の展示コーナーの配置
- ・ 市民が作りこめるスペース

#### 【滞在方法】

- ・ 待ち合わせ（オープンスペース）
- ・ 広いテラス、庭があり、外にもイス、テーブルがあって長時間過ごせる
- ・ 持ち込みの弁当等を食べられる
- ・ ちょっと時間ができたときに立ち寄りたくなる雰囲気

#### 【大人数での利用】

- ・ 団体、グループで利用するスペース
- ・ 交流が生まれる
- ・ 話し合いができるスペース
- ・ ワークショップ、イベントの開催

### 静かな空間

#### 【落ち着いた空間・雰囲気】

- ・ 天然の木材を使った内装、森林浴ができそうな雰囲気
- ・ 夜は落ち着いたリラックスできる雰囲気
- ・ ゆるい雰囲気
- ・ のんびりした雰囲気
- ・ すっといたくなる雰囲気
- ・ ゆったりできる空間

#### 【個人での利用】

- ・ 書架の近くにその場で本を読めるようにイスを配置
- ・ 個人で本を読むスペース
- ・ 勉強ができる

#### 【滞在方法】

- ・ お茶を飲みながらゆっくりと本を読む
- ・ 疲れた人の身体が癒されるスペース
- ・ カップルがデートで使いたくなる雰囲気

### 全体的な空間・雰囲気

#### 【にぎやかな空間と静かな空間の構成】

- ・ 読書、インキュベーション、交流、イベント、暇つぶしなど機能をゾーニング
- ・ にぎやかな空間と静かな空間を距離と配置で区別
- ・ 防音された図書室
- ・ 各分野に特化した部屋をいくつか作り内装と本を揃える

#### 【全体的な空間・雰囲気】

- ・ 明るく開放的な空間
- ・ 思わず入り込んでしまう図書館
- ・ “図書”を使わなくても過ごせる雰囲気
- ・ 外国にある雰囲気の書店
- ・ 外から本を読む人々が見えるようにする
- ・ 障がい者が利用しやすい、ユニバーサルデザイン

## 【サービス】「どんなサービスがあったら良いですか？」

### 情報

#### 【資料の情報】

- ・ おすすめ本の紹介
- ・ コンシェルジュがいる
- ・ ビジネスの専門書が充実している
- ・ 検索、閲覧サービスが充実している
- ・ 外国人向けのコーナー、スタッフがいる
- ・ 豊橋では読めない新聞がある
- ・ 最先端の学術的知識を紹介してくれるコーナー

#### 【地域の情報】

- ・ 豊橋に関連する情報をアピールする  
(おすすめスポット、豊橋の歴史、市内のお店、お祭り、イベント、豊橋市出身作家の本、求人情報、農作物など)

#### 【相談】

- ・ 健康相談、人生相談、恋愛相談などにのってくれる
- ・ 司書資格のあるスタッフがそろっていて、いろいろ相談にのってくれる
- ・ スマホ等の使い方を教えてくれる
- ・ 専門知識のあるボランティアによるレファレンス(調べ物の相談)
- ・ 勉強をボランティアが教える

### 誰でも使いやすいサービス

#### 【便利な機能】

- ・ 早朝から深夜まで開館している
- ・ 市電とのコラボ(返却ボックスの設置、おすすめ本の展示)
- ・ 図書館以外の分かりやすい場所に返却ポストを設置
- ・ 図書を取り寄せサービス(交通弱者の人にも便利)
- ・ 本が購入できる、発注できる
- ・ 市の窓口センターがある

#### 【高齢者、障がい者、外国人など】

- ・ 視覚、聴覚障がいのある方へのサービスの充実(点字・代読・手話など)
- ・ 館内放送の電子掲示板化
- ・ 多言語対応
- ・ 入院している人に書籍の貸出

#### 【情報通信技術】

- ・ インターネットが使える(WiFi環境がある、プリントができる、充電ができる)
- ・ タブレットの貸出
- ・ 読書の履歴を見ることが出来る
- ・ 会員証にポイントを貯める(本のコメントを集める、早期返却などでポイント付与)
- ・ 専用アプリを利用者カードとして使う
- ・ 電子端末の画面をかざすと本のデータを見ることが出来る
- ・ 見やすいHP

#### 【子ども、子育て世代】

- ・ 託児サービス(子ども用トイレ、授乳室など)
- ・ 遊具があるなど、親子で楽しめる

### イベント・交流

- ・ 図書館の運営を検討する仕組みをつくり、常に市民のニーズをとらえた新しい企画などを提案
- ・ 司書や市民による企画展の開催
- ・ 美術品の展示が充実している
- ・ 有名人(著名人、文化人)を呼んでくれる(トークイベント等)
- ・ 豊橋おすすめスポットの日帰りツアー
- ・ 市場が開催される(手作り市、不用品など)
- ・ テーマを決め公開講座を行う
- ・ ビジネス支援のスクール、図書館活用のワークショップ
- ・ 定期的で参加しやすい読書会を開催する
- ・ 映画の上映会ができる
- ・ 子ども向けに本の読み聞かせや紙芝居
- ・ 大学と連携した出前講座
- ・ NPOの交流センターとしての機能をもたせる

### 楽しむ、憩いのサービス

- ・ 回転すしのように目の前を本が流れていく
- ・ 本を見ながら工作や料理ができる
- ・ 音楽の練習、ミニコンサートが開ける
- ・ お茶を楽しめる和室がある
- ・ 同窓会が出来る、結婚式が出来る
- ・ 市民が書き込めるホワイトボードがある
- ・ お酒が飲める
- ・ 食事ができる
- ・ 運動ができ、シャワー、ロッカーがある
- ・ 泊まれるスペースがある
- ・ マッサージを受けられる
- ・ 足湯がある

## 【ゾーニング】「空間の使い方について」

### 図書館全体での考え方

#### 書架

- ・ 子どもが見通せる低い書架を一般書スペースに配置する
- ・ 専門書などは高い書架でもよい
- ・ 中高生向け図書は、人が多いスペースから離れた位置に配置する

#### 閲覧席

- ・ 書架の端や壁沿い、窓沿いに点在させる
- ・ 外から見える位置に閲覧席や書架を設置する



- ・ 図書館全体に係る書架、閲覧席の配置として、見通しの良さや、外を見ながら本を読む配置といった、開放的で居心地の良い考え方があった。

### 入口等の考え方

- ・ 入口は駅前大通り側から入りやすく、目立つ位置に配置する
- ・ 入口となる駅前大通り側から中の様子が見えるようにガラス張りにする
- ・ 下フロアの内部が外から見えるように全面ガラス張りにする
- ・ 周辺の商業施設のどこからでも出入りができるようにする
- ・ 図書館と気付かないうちに図書館に入っていけるようにする、そのため、イベント等に使えるオープンスペースを図書館の南北を繋ぐように配置する



- ・ 入りやすさを重視して駅前大通り側に設置することや、中の様子が外から見えるようにする等、開放的な図書館とする考え方が多かった。

### 動線の考え方

- ・ ブラウジングコーナー（閲覧席）と広場・カフェ等を離して配置し、動線を計画する
- ・ 動線の途中に展示コーナー等を設置する
- ・ 2層のフロアを繋げる吹抜けを中央や中央北側に設置する
- ・ 吹抜けに階段やエレベーターを設置する、開放的で素敵な空間にする



- ・ 中央付近に吹抜けを設置する等、明るく開放的な図書館を望む考え方が多かった。また、図書館内で新たな発見ができるように動線を工夫するという考え方もあった。

## 2層の使い分けについて

- ・ 上フロアは落ち着いた空間（専門書や調べ物ができる、活動ゾーン等）
- ・ 下フロアはにぎやかな空間（イベント、オープンスペース、子どものゾーン）
- ・ 上フロアは静かで集中できる空間（学習ゾーン、郷土ゾーン）
- ・ 下フロアはにぎわいのある空間（子どものゾーン、飲食、催し物ができるテラス、情報コーナー等）
- ・ 上フロアは静かな空間（学習室等、多目的スペース、図書ゾーン、Wi-Fiゾーン等）
- ・ 下フロアはにぎやかな空間（子ども・子育てゾーン、広場、飲食ゾーン、情報コーナー等）
- ・ 上フロアにはスタディゾーン、くつろぎゾーン等を配置
- ・ 下フロアにはカフェコーナー、イベントコーナー等を配置



上フロアを静かで落ち着いた空間、下フロアをにぎやかで音を出せる空間として使い分けする考え方が多かった。

## 上フロアの考え方

### 専門書ゾーン

- ・ ビジネス資料などは行く目的となるため、入口から奥の方に配置する

### ミーティングゾーン

- ・ 静かな空間となる上フロアに配置する

### 活動ゾーン

- ・ 区切られた空間として、まちなか広場から離れた位置に配置

### くつろぎゾーン

- ・ 広場に面した位置に配置。静かな上フロアにも配置する

### 学習ゾーン

- ・ 中高生が集中できるように、吹抜けから奥まったところに配置する
- ・ 南側の外が見える場所に配置する
- ・ 比較的静かなので、上フロアに配置する
- ・ インターネットコーナーと近接

### インターネットゾーン

- ・ 静かなゾーンで街並みが見えるように北側に配置



- ・ 上フロアは、学習ゾーン等、落ち着いて集中できる静かなゾーンを配置する考え方が多かった。
- ・ 静かなフロアで外が見える環境がよい場所に、学習ゾーンやインターネットゾーンを配置する考え方があった。

## 下フロアの考え方

### カウンター

- ・ 全方向から見えやすいように中央にカウンターを設置する
- ・ 上下フロアを繋げる吹抜け近くに配置する
- ・ 入口から入ってすぐの場所にコンシェルジュがいる

### イベントゾーン

- ・ 外から何を行っているかがわかるようにまちなか広場に面する位置に設置する
- ・ 子どもゾーンとイベントゾーンは近くにあって安心
- ・ オープンスペースとして中央に配置する

### 新聞・雑誌・DVD/Dゾーン

- ・ 外から見えて入りやすくなるように、入口付近の大通りに面した位置に配置する

### その他

- ・ 中央には水槽等の目立つものを配置する
- ・ まちなか広場の近くに足湯を設置する

### 子ども（児童）・子育てゾーン

- ・ 子どものゾーンはまとめてにぎやかな下フロアに配置する
- ・ 家族、親子で使えるスペースを子どもゾーンの隣に配置する
- ・ 明るく日当たりのいい窓際に配置するが、道路に出ないように奥まった位置とする
- ・ まちなか広場に面する位置に配置して、そのまま遊びに行けるようにする

### カフェゾーン

- ・ 子どもエリアの様子が見られて、イベントスペース等との繋がりを設けるために、カフェを中心に設置する
- ・ 外から見える位置にカフェを配置する

### くつろぎゾーン

- ・ まちなか広場が見えるように南側に配置する
- ・ 緑を見ながら飲食ができるように、公園に面して広くテラスを設置する
- ・ 話ができる対話スペースをまちなか広場の隣に設置する



- ・ 下フロアは、イベントや子どもゾーン等の音を出しても良いにぎやかなゾーンを配置する考え方が多かった。
- ・ 外からの図書館の様子がみえるように、窓側に立ち寄りやすいゾーン・活動的なゾーンを配置する考え方が多かった。
- ・ イベントゾーンやカフェ等のにぎやかなゾーンを中心に配置する考え方もあった。
- ・ 入口や中央付近にカウンターを設置する等、分かりやすさを重視する考え方もあった。